

教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成26年度事業分)

平成27年9月

葛城市教育委員会

目 次

	はじめに.....	1
1.	教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について.....	2
2.	教育に関する事務の点検及び評価について.....	2
3.	教育委員会点検・評価に関する有識者の概要.....	4
4.	教育委員会の運営及び活動状況.....	5
5.	葛城市総合計画に基づく政策体系について.....	9
6.	教育委員会事業評価シート.....	1 1
7.	点検及び評価のまとめ.....	6 5

はじめに

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関であり、教育委員会が自ら立てた教育行政の基本方針に基づき、教育に係る広範かつ専門的な事務を確実に実施することが求められます。

平成20年4月より施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正で、各教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本市教育委員会におきましても、平成27年度事業評価にあたり、前年度評価の実施後、改めて評価対象や評価方法に係る議論を重ね、その上で担当課ごとに自己評価に取り組みました。5月には、法に定められた「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」ために設置された「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」により、各事業実務担当者に対するヒアリングを実施し、各事業についてご意見をいただきました。

有識者のご意見を受けて再度担当課ごとに来年度以降の事業方針を決定し、最後に教育委員より評価の総評をいただきました。

この報告書は、以上の成果を「教育に関する事務の点検及び評価報告書」としてまとめたものです。

1. 教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について

(1) 趣旨

葛城市教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

(2) 実施方法

- 1) 葛城市教育委員会の主要施策を対象として点検及び評価を行う。
- 2) 点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向を示すものとし、毎年1回実施する。
- 3) 施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行う。
- 4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」を置く。
(「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。)
- 5) 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を市議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

2. 教育に関する事務の点検及び評価について

(1) 評価の対象

評価の対象は前年度の施策・事業（今回は平成26年度事務執行分）とし、葛城市教育委員会所管の学校教育・社会教育それぞれの分野の施策に関して、評価を実施しました。

(2) 今年度の点検及び評価の流れ

まず、主要事業ごとに教育委員会事務局自らがそれぞれの事業のコスト及び成果等について自己評価を行いました(教育委員会事業評価シート(計画)・(実施内容)・(評価)各欄)。その後、事務局評価の客観性を確保するため、作成した評価シート及び各課への有識者ヒアリングをもとに、有識者より様々なご意見をいただきました(教育委員会事業評価シート(有識者意見)欄)。事務局はそれらのご意見を受けて、来年度以降の事業方針を決定しました(教育委員会事業評価シート(方向性)各欄)。

最後に、これらすべてについて教育委員よりご意見をいただきました(点検及び評価のまとめ)。

(3) 点検・評価の経緯

①平成26年度 3月定例教育委員会会議(平成27年3月18日開催)

教育に関する事務の点検及び評価の公表・年度計画について協議決定するとともに、事務の点検及び評価を行う様式及び評価事業の決定を行いました。

②教育に関する事務の点検及び評価 有識者ヒアリング

(平成27年6月8日・11日開催)

事業評価について、各事務担当より意見聴取を行いました。

③平成27年度 7月定例教育委員会会議(平成27年7月21日開催)

教育に関する事務の点検及び事業評価について協議しました。

⑤平成27年度 8月定例教育委員会会議(平成27年8月18日開催)

教育に関する事務の点検及び評価報告書を決定しました。

⑥「教育に関する事務の点検及び評価報告書」を葛城市議会議長に提出します。

(平成27年9月提出予定)

(4) 各事業の方向性

平成26年度主要施策における来年度以降の方向性について、集計結果は以下のとおりです。

事業の方向性	件数
さらに重点化する	4件
現状のまま継続する	15件
見直しのうえ継続する	5件
事業の縮小を検討する	0件
休止、廃止を検討する	0件
終了・完了	2件

(主要施策ごとの評価は、P13～P64に掲載)

3. 教育委員会点検・評価に関する有識者の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に基づき、葛城市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただくため、葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者を委嘱しました。

有識者は、次の方に委嘱しました。

岡野 晴充 (元小学校校長、葛城市社会教育委員・公民館運営審議会委員)

川中 教正 (當麻寺奥院 副住職)

(主要施策ごとの意見は、P13～P64に掲載)

教育委員会の運営及び活動状況

(1) 教育委員会委員について

教育委員会委員は下表のとおりです。(平成27年 6月30日 現在)

職名	氏名	備考
教育長	大西 正親	
教育長職務代理人	和田 治	
委員	川村 泰男	
委員	米田 知昭	
委員	高木 希容子	

(2) 教育委員会議及び審議状況について

平成26年度は合計で12回(臨時会1回)の委員会を開催し、審議事項26件、協議報告事項29件について審議・協議を行いました。内容は、下表のとおりです。

開催日	審議事項	協議報告事項
4月21日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市社会教育委員の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市公民館運営審議会委員の委嘱について 平成26年度学校教育課程について
5月27日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市一般会計補正予算に対する意見聴取について 葛城市社会教育委員の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市公民館運営審議会委員の委嘱について 葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者の委嘱について 学校評議員の委嘱について 葛城市学校運営協議会委員の委嘱について 葛城市教育委員会後援名義の使用について
6月20日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会委員長選挙について 葛城市教育委員会委員長職務代理者の指定について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会後援名義の使用について
7月25日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市社会教育委員の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度以降使用小学校教科用図書の採択(案)について 葛城市通学路交通安全プログラム(案)について 葛城市教育委員会後援名義の使用について

開催日	審議事項	協議報告事項
8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度以降使用の小学校教科用図書の採択について ・葛城市一般会計補正予算に対する意見聴取について ・葛城市学校給食特別会計補正予算に対する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市教育委員会後援名義の使用について ・平成26年度教育に関する事務の点検及び評価について
9月21日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市教育委員会後援名義の使用について
10月17日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市教育委員会後援名義の使用について
11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計補正予算に対する意見聴取について ・学校給食特別会計補正予算に対する意見聴取について ・葛城市教育委員会委員の任命に関する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会選出各種委員の委嘱について ・葛城市教育委員会後援名義の使用について
12月18日		<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市学校給食運営委員会委員の推薦について ・葛城市教育委員会作文の選考について
1月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市文化財保護審議会委員の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市文化会館協議会委員の委嘱について ・葛城市学校給食運営委員会委員の委嘱について ・葛城市教育委員会作文の選定について

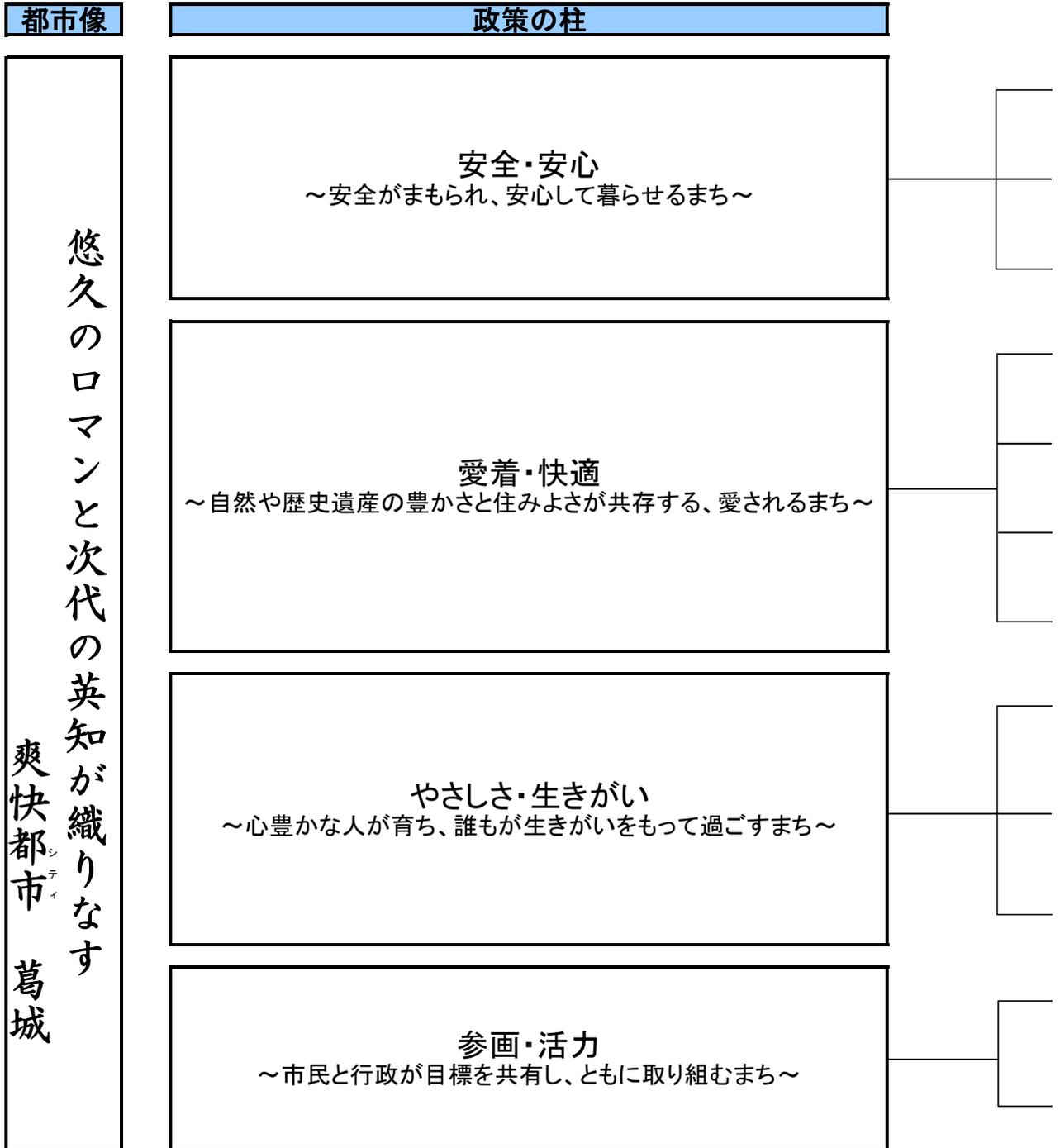
開催日	審議事項	協議報告事項
2月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計補正予算に対する意見聴取について ・損害賠償の額を定め、和解することに対する意見聴取について ・一般会計予算に対する意見聴取について ・学校給食特別会計予算に対する意見聴取について ・教育委員の辞職について ・葛城市教育長の任命につき同意を求めることに対する意見聴取について ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を制定することに対する意見聴取について ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理に関する規則について ・葛城市教育委員会公印規程の一部を改正する規程について ・社会教育委員の委嘱について ・葛城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例を制定することに対する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市教育委員会後援名義の使用について ・葛城市公民館運営審議会委員の委嘱について
3月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市学校医の委嘱について ・葛城市学校歯科医の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市遊技場建築審査会委員の選出について ・葛城市文化会館協議会委員の委嘱について ・葛城市歴史博物館協議会委員の委嘱について ・教育委員会後援名義の使用について ・平成27年度教育に関する事務の点検及び評価 評価対象事業の選出について

(3) 教育委員会議以外の活動について

市内外の各種行事や研修等に参加しました。主な内容は、以下のとおりです。

- ・各幼稚園、小・中学校入学式（4月8日～10日）
- ・奈良県市町村教育委員会連合会会議（5月19日）
- ・市町村教育委員会教育委員長・教育長会（6月4日）
- ・葛城市立学校新着任者研修会（8月20日）
- ・市民体育祭（9月21日）
- ・各幼稚園、小・中学校運動会（9月27日～10月4日）
- ・平成26年度奈良県市町村教育委員研修会（11月7日）
- ・各小・中学校訪問（10月30日～12月3日）
- ・各幼稚園訪問（1月27日～2月3日）
- ・葛城市駅伝・マラソン大会（1月11日）
- ・成人式（1月12日）
- ・教職員人事ヒアリング（1月23日）
- ・生涯学習まちづくり推進大会（2月15日）
- ・各幼稚園、小・中学校卒業式（3月17日～19日）

5. 葛城市総合計画に基づく政策体系について
 葛城市総合計画については以下のとおりです。



政策目標	施策目標
犯罪・災害に対する安全性の向上	犯罪から市民をまもり安全性を高める 自然災害や火災等に対する安心感を高める
事故や病気に対する安心感の向上	安心して救急医療サービスが受けられるようにする 交通事故を減らし、安全に対する意識を高める
社会生活の安全性の向上	食に対する安心感を高める 消費生活や個人情報の安全をまもる
良好な自然・地域環境のブランド化	良好な自然と地域環境を保全し、活用する 循環型社会への取組を高めるとともにモラルを向上させる
歴史・文化の保全・継承と交流の促進	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす 伝統文化を継承するとともに新たな文化・交流を生み出す
日常生活の利便性・快適性の向上	駅前整備や道路など日常生活の利便性を高める 憩いや散策の場が身近にあり、快適性を高める
地域産業の振興と担い手の育成	農業をはじめ第1次産業の担い手を育てる 特産品や技術を生み出し、地域産業を活性化する
子育てと生きがいの両立	地域で支えあいながら、楽しく子育てができるようにする 子育てと仕事が両立できるようにする
学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる 必要な知識や能力を身につけられるようにする 芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする
いきいきとした生活と社会参加の促進	病気にかからず、介護を必要としないよう、心身の健康を保つ 高齢者や障害者の方が安心して生活できるようにする
市民参画による協働のまちづくりの推進	地域コミュニティ・団体を育てる 市民や事業者の考えや提案をまちづくりに活かす
効果的な行財政運営	経費の削減と独自財源の確保による財政基盤を強化する 職員の能力を高め、アイデアを政策に反映させる 目標に応じた効果的なサービス等の提供を行う

※網掛け部は今回の教育委員会評価対象事業において目標とされている施策です。

6. 教育委員会事業評価シート

【平成26年度主要事業に対する教育委員会評価シート】

事業 No. 1	小・中学校地震補強・大規模改造工事	13
事業 No. 2	相談（来室・訪問）事業・研修支援	15
事業 No. 3	適応指導教室	17
事業 No. 4	スクールカウンセラー（SC）	19
事業 No. 5	学校給食事業	21
事業 No. 6	学校給食センター建設事業	23
事業 No. 7	葛城歌壇短歌募集事業	25
事業 No. 8	読書活動支援・講座	27
事業 No. 9	ブックスタート・こんにちはえほん	29
事業 No. 10	成人式式典事業	31
事業 No. 11	生涯学習人材バンク事業	33
事業 No. 12	青少年健全育成事業	35
事業 No. 13	学校・地域パートナーシップ事業	37
事業 No. 14	生涯学習まちづくり推進大会	39
事業 No. 15	子ども・若者育成支援事業	41
事業 No. 16	公園まつり実行委員会業務	43
事業 No. 17	地区館教室・講座事業	45
事業 No. 18	中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業	47
事業 No. 19	文化振興事業	49
事業 No. 20	展示（常設展・特別展等）事業	51
事業 No. 21	歴史講座開催事業	53
事業 No. 22	埋蔵文化財等調査事業	55
事業 No. 23	文化財保存事業	57
事業 No. 24	各種教室開催事業	59
事業 No. 25	各種スポーツ大会等開催事業	61
事業 No. 26	体育施設の運営事業	63

教育委員会事業評価シート

		事業No.	1
事務事業名	小・中学校地震補強・大規模改造工事	担当課名	教育総務課
係 名	施設係	施 設 名	當麻小学校、新庄中学校他

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	安全・安心～安全がまもられ、安心して暮らせるまち～		
	政策目標	犯罪・災害に対する安全性の向上		
	施策目標	自然災害や火災等に対する安心感を高める		
事業の目的	教育施設の耐震性を高め、児童・生徒の安全を確保する。			
事業の内容	<p>當麻小学校工事はRC造・2階建て・延べ面積1,938㎡の校舎について、防水改修、外壁改修、建具改修、内装改修等の大規模改造工事を実施した。</p> <p>新庄中学校工事は、RC造・4階建て・延べ面積1,831㎡の校舎及びS造・2階建・延べ面積1,500㎡の屋内運動場について防水改修、外壁改修、建具改修、内装改修等の大規模改造工事を実施した。</p> <p>また、新庄小学校では渡り廊下2棟について、校舎の耐震診断時の耐震性能が低く改築が必要との診断結果により改築工事を実施した。</p>			
事業対象	小学校の校舎、渡り廊下及び中学校の校舎、屋内運動場			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 26年度 ～ 平成 26年度 間

(実施内容)

		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		330,593	494,122
内一般財源			244,672	381,960	107,382	
内国・県補助金			110,247	112,162	10,690	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			4,024	8,194	4,902	
総コスト①+②			334,617	502,316	122,974	
実績と成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	学校耐震改修棟	棟	2	0	0
		幼稚園耐震改修棟	棟	0	0	1
	事業成果	学校耐震化率	%	100.00	100.00	100.00
		幼稚園耐震化率	%	71.40	71.40	85.71

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>本工事の施工により校舎、屋内運動場の安全性がより向上し、児童が安心して学業に取り組める環境づくりに貢献できた。また、本工事の完了により、新市建設計画に基づく小、中学校の施設整備を無事に完了することができた。</p>			
事業の課題・問題点	<p>小、中学校については耐震化を達成しているが、幼稚園園舎についても耐震診断により地震補強が必要な施設があることから、今後、幼稚園の耐震化を進めていく必要がある。また、あわせて各種建築物や設備等の点検管理を徹底し、引き続き安全で安心できる学校施設の環境づくりに努める必要がある。</p>			
評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>安全で安心できる学校施設を提供できるよう、教育環境整備のための取り組みに努めている。</p>			

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>子どもたちが毎日活動する学校は安全ではなくてはならない。そのために小中学校の耐震補強・大規模改造工事により、児童・生徒が安心して学校生活を送れる環境整備ができたことは評価できる。今後も、施設点検を定期的に行っていただき、すべての教育施設の環境整備に取り組んでいただきたい。</p> <p>地域の将来を担う児童・生徒達が集まる学校施設の耐震工事が完了したことは、児童・生徒、保護者だけでなく、地域住民の多くが喜ぶべきことだと考えます。実際に災害が発生した際は住民の受け入れ施設としても機能するわけですから、費用対効果の面からも十分に評価できます。ただし、学校校舎の多くは建設から時間が経過し老朽化しており、目的にある安全を担保するならば今後も定期的な検査が必要になると考えます。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>新市建設計画に基づき実施している小中学校の耐震改修事業については、平成26年度で、耐震化率100%を達成し、老朽化した校舎についても改修を実施し完了しました。</p> <p>しかし、葛城市になって10年が経過しており、新市建設計画の策定時には改修の必要のない校舎や体育館についても老朽化が進んでいるため、今後・児童生徒が安心して快適な教育環境を維持できるよう点検整備を実施して、教育施設の環境整備につとめていきたいと思ひます。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	2
事務事業名	相談（来室・訪問）事業・研修支援	担当課名	学校教育課
係名	教育相談室	施設名	教育相談室

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまちへ		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	子育て・教育についての相談に応じ、その諸問題の改善を図る。			
事業の内容	不登校をはじめ学校生活上の諸問題について保護者や教員（ときには児童・生徒）の相談に応じ、その改善に向けて指導助言を行う。また、園児・児童・生徒の発達や成長についての相談に応じ、保護者へのカウンセリングや教員へのコンサルテーションを行う。 巡回相談は、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校への就学指導相談を行う。			
事業対象	市内の幼稚園・小・中学校の園児・児童・生徒とその保護者、市立園・校の教員。			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
	事業費 ①		0	0	0	
	内一般財源		0	0	0	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		8,638	8,495	9,389	
	総コスト①+②		8,638	8,495	9,389	
実績と 成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業 実績	電話・来室相談(件数)	回	284(61)	296(53)	250 ※1
		巡回相談	件	406	339	350
	事業 成果	問題行動回避・防止	%	47	51 ※2	40
		問題状況改善・解決	%	53	49 ※3	60
※1 1日に1件今日の相談があると想定。※2 件数(問題状況改善・解決) ※3 教育相談(電話・来室相談)件数のうち改善・解決して終了した件数の割合						

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>就学前・義務教育期から子どもや保護者に寄り添い、悩みや不安を受けとめ適切な示唆を与えることが、不登校や問題行動等を回避するうえで大きな意味をもつ。また、障害受容を早い時期から適切に促し支援することにより、保護者や教員に対するきめ細やかな教育が展開でき、幼児・児童の成長・発達を保障することができる。</p> <p>保護者や教員のニーズが高く、相談・観察・検査等に相当の時間を要するため、平成21年度より巡回回数を増加させた効果が表れ、相談回数が増加し、一人一人に関わる時間が増加した。特別支援学級・特別支援学校の対象児童・生徒が増え、就学相談を適切に行うことができるよう回数を平成27年度より増やした。</p> <p>平成26年度も、前年度に引き続き市内在住で軽度発達障害が認められる児童の療育キャンプを実施した。参加は児童14名、保護者12名、指導者6名、支援員7名で、国立曽爾青少年自然の家に1泊2日で行った。児童は2日間で自分らしさを発揮して情緒・行動の安定が、保護者は「待つ」姿勢や子どものよさを認める姿勢が培われるとともに、互いの連帯感が生まれた。昨年参加した児童全員が今年も参加したことから、キャンプの成果が評価されていることが分かる。</p> <p>事業成果の問題行動・状況を回避・防止・改善・解決できた割合は、一定の成果であると考えている。</p>			
事業の課題・問題点	現在の教育相談室は適応指導教室と同じ建物内にあり、教室に通う児童・生徒を気にしながら電話相談や来室相談に応じている。プライバシー保護の観点から、施設の改修を図る必要がある。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	幼稚園、小学校の成長発達に関わる相談ニーズが増えている。さらに、特別な支援を要する幼児・児童が増加している現状から、巡回相談の件数を増額しよりきめ細かい相談活動を行ってきた。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>近年、子育て・教育についての悩みや不安を持っている保護者が増えてきている。また、それに伴って教員においても悩みを抱えている現状がある中、この事業は十分成果をあげてきていると思います、これからは保護者や教員が気軽に相談できるような環境づくり(施設・人材育成・幼小中学校との連携等)に取り組んでいただきたい。</p> <p>市内だけでなく県内全域で対象者が増加しているという現状を鑑みると、県内で今後人口増加見込まれる数少ない葛城市としては、早めの対策が必要ではないかと考えられる。事業規模や個別の対応は充実しているように感じられるが、人的負担を考えるとサービスのバランスを考慮することや、臨床心理士の活用及び確保など長期的視点も持っていただきたい。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>上記を踏まえての担当課意見・数値目標等</small>	特別支援学級への入級児童数の増加は葛城市に限らず奈良県全体でも同じ傾向にある。また、幼稚園での特別に支援を要する幼児の増加や小学校で普通学級に在籍して特別に支援を要する児童も増加している。その現状から幼児・児童本人や保護者、教職員の発達・成長に関わる相談活動は欠かせないものとなっている。今まで以上に相談活動の充実を図っていく必要がある。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	3
事務事業名	適応指導教室	担当課名	学校教育課
係 名	教育相談室	施設名	教育相談室

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	不登校児童・生徒1人1人に即した支援を行い、学校復帰を目指すとともに、学校不適応が社会不適応につながらないようにする。			
事業の内容	不登校児童・生徒を対象に個別カウンセリングや個別教科学習、集団活動、スポーツ活動等を行い、学力の保障を図るとともに、児童・生徒の自立心や社会性、協調性を育て、のびのびとした発達・成長を促す。			
事業対象	市内の小・中学生			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		132	190
内一般財源			0	0	0	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			5,891	5,302	5,900	
総コスト①+②			6,023	5,492	6,090	
実績と成果	区 分	単 位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)	
	事業実績	入室人数	人	17(5)	10(6)	10(4)
		※入室人数については、在籍者数(その年度の入室者数)				
		学校復帰数	人	4	1	3
	事業成果	高校等進学率	%	85	100	100
		出席率	%	45	27.24	40

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	<p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>平成26年度通室者数は、新庄中学校区(中学生4名、小学生なし)、白鳳中学校区(中学生5名、小学生1名)だった。平成26年度は新庄中学校区・白鳳中学校区より7名の入室があった。出席率は27%程度である。平成26年度は、学校に行けない、ふたかみ教室にも行きにくい生徒が複数いて出席率が低くなった。そのような生徒が全面的な引きこもりにならないように、指導員2名が一人一人の日を決めて家庭訪問に取り組み、週に1回、月に2~3回とふたかみ教室に来ることができるようにした。</p> <p>昨年度に引き続き、社会見学や体験学習を実施した(国立少年自然の家1泊2日の卒業旅行。花や野菜の栽培活動)。見学地での新鮮な驚きや感動、集団行動の大切さの自覚等々貴重な学習の機会であると認められる。</p> <p>平成23年度より、2ヶ月ごとに各小・中学校より不登校傾向が認められる児童・生徒の記録を提出願い、それを通して各学校に不登校防止の自覚を促し、早期発見・早期対応を図るようにしている。調査によって教育相談室・適応指導教室や学校の取組を客観的に分析検討する機会としている。学校が不登校をできる限り防止すること、自らの取組の適否を客観的に検討する機会となると同時に、教育相談室・適応指導教室との連携が深まっている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>中学生の不登校は、小学校時代にその萌芽が認められる場合が少なくない。前述した2ヶ月ごとの不登校傾向児童生徒の調査の分析をはじめとして、適応指導教室として何ができるかを今後検討し、気になる事例に関して学校との連絡調整を図っているが、今後さらなる取組の充実を図る必要がある。</p> <p>その取組の端緒として、平成25年度から市校長会の組織の一つである教育相談部会の活性化を図り、各校の実選交流や不登校の要因の一つである発達障害の理解を促す取組を行った。平成27年度は、不登校の未然防止をテーマに取り組み予定である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>適応指導教室に入室しながら家での引きこもりになる児童・生徒が存在する。また、教室に来る回数が極端に少ない生徒もいる。このような児童・生徒に対して指導員が定期的な家庭訪問を行い家庭から外に出ることが出来るような取り組みを進めている。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>不登校児童・生徒が増加している現状で、不登校児童・生徒に対して一人ひとりに応じた指導、支援や不登校の早期発見、早期対応を図るこの事業は、一定の成果が見える。これからも今まで以上に、ふたかみ教室に通っていない児童・生徒の保護者に対して、学校と連携をとり支援する取り組みを充実してほしい。</p> <p>必要な事業であることは認めることができる。しかし、市内対象者人数に於ける参加者数、参加者数の中の出席率で見ると、効果的な事業となっているのかどうか疑問があり、経済・効率性、目標達成度の自己評価が妥当なのか検証すべきだと考える。参加者のみの成果から判断しているのではないか。事業目的達成のためには、全対象者の動向を評価に加えるべきである。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 上記を踏まえての(担当課意見・数値目標等)	<p>適応指導教室に来ている児童・生徒のニーズは多様なものがある。まず心のケアを中心に取組まなければならない子から進学を控えて学習に重きを置いた取組をしなければならない児童・生徒まで多種多様である。さらに、通室している児童・生徒の学年のばらつき、学習の習熟度の違いなどで一人ひとりの児童・生徒に対応する必要がある。その中で2名の指導員は心理的な臨床と学習指導に取り組んでいるが、指導員の人数不足は否めない。今後、児童・生徒の成長・発達を保障するために適応指導教室の組織、人員のあり方を検討していかなければならない。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	4
事務事業名	スクールカウンセラー (SC)	担当課名	学校教育課
係 名	教育相談室	施設名	新庄中学校 白鳳中学校

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	学校不適応をはじめ学校生活上の諸問題で悩む児童・生徒に対するカウンセリングを行うことで、諸問題の改善を図る。			
事業の内容	不登校や学校生活の諸問題で悩む児童・生徒・保護者の求めに応じてカウンセリングを行う。 また、学級担任や相談担当教員へのコンサルテーション及び職員研修の指導助言を行う。 適応指導教室に入室する児童・生徒のカウンセリングを行い、進路を決定する。			
事業対象	市内の小・中学校児童・生徒とその保護者、教員			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業費 ①	2,024	2,065	2,065	
内一般財源	内国・県補助金	0	0	0		
	内受益者負担	0	0	0		
	人件費 ②	0	0	0		
総コスト①+②		2,024	2,065	2,065		
実績と成果	区 分		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)	
	事業実績	相談回数	回	419	445	400
	事業成果	適応指導教室入室者数	人	5	7	5
		情緒や家庭環境の安定	人	39	44	40

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>かつて課題となった多様かつ増加傾向にある相談要請への対応については、スクールカウンセラー(以下、SC)に相談の一切を委ねるのではなく、SCの初期相談の後は教育相談室長が継続相談を引き受けて実施した。また、より専門的な関係機関(医療・サポートルーム等)につなぎ、課題の改善・解決に努めている。</p> <p>平成26年度の相談回数445回のうち、教職員のコンサルテーションが112回あり、不登校傾向をもつ児童・生徒に対する現場の指導に生かされている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>市が単費で雇用する白鳳中学校のSCは、適応指導教室入室に係る相談や教育相談室所属心理士へのアドバイスの時間も含むため、年間最大50回(350時間)の予算措置をしている。本年度より県費スクールカウンセラーが全中学校に配置されることになった。現在、新庄・白鳳中学校に県費スクールカウンセラーがほぼ隔週に配置(年間17回、年105時間)されたため、市費スクールカウンセラーも隔週に両校に配置した。これによって、両校共ほぼ毎週カウンセラーが配置できるようになった。これによってカウンセリング事業の充実を図ることができた。</p> <p>一つの学校に2名のカウンセラーがいるため、2名のカウンセラーの連携と役割分担をどう図っていくかが今後の課題となる。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>3年前から市費スクールカウンセラーが白鳳中学校専属であったのを、月に1回新庄中学校でカウンセリングを行うことにした。そのことで新庄中学校のカウンセリングの月回数が県費カウンセラーの月2回と市費カウンセラーの月1回を合わせて月に3回のカウンセリングを行うことが出来るようになり、新庄中学校、白鳳中学校とも月のカウンセリング回数が3回と同じ回数時カウンセリングが行えるようになった。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有識者意見	<p>スクールカウンセラーの相談業務及びその体制が整っており、十分成果が上がっている。また、教職員のコンサルテーションも充実しており、教育現場に生かされていることは、児童・生徒にとってよいことであり、今後も今までどおり継続してください。</p> <p>以前から見られた県費と市費の問題。学校間でのサービスの差が生じている課題が解決してきたように感じる。またSCに全てを委ねるのではなく教育相談室も積極的に関わっていることも評価できる。児童・生徒・教員・保護者の問題は多様であり複雑であろうと思われるが、さらなる質の向上を期待したい。上記2, 3, 4の事業は複雑に連携していることは推測できるのだが、説明を受けても分かりづらい。市民にはさらに伝わっていないのではないかと。どのような素晴らしい事業も市民に伝わらなければ価値は半減してしまうと考える。</p>
-------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針	<p>不登校児童生徒数が多いのが現状であることから、不登校傾向の小学校児童に対して市費スクールカウンセラーが小学校に出向き児童や保護者、教職員に対してカウンセリングを行う取組を進める。</p>	
上記を踏まえての担当課意見・数値目標等		

教育委員会事業評価シート

		事業No.	5
事務事業名	学校給食事業	担当課名	学校給食センター
係 名		施設名	学校給食センター

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	安全・安心～安全がまもられ、安心して暮らせるまち～		
	政策目標	社会生活の安全性の向上		
	施策目標	食に対する安心感を高める		
事業の目的	園児・児童・生徒の心身の健全な発達のため、安全で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と判断力を養い学校での食育に資することを目的とする。			
事業の内容	葛城市の給食事業は、2箇所の給食センターから幼稚園5園・小学校5校・中学校2校に給食を実施している。給食数は1日4千食である。安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供し、合理化・効率化を図るため両センターが連携して献立の作成や食材の共同購入を行い、設備管理等における契約業務も統一して行っている。食育の取り組みでは、引き続き地産地消を推進して地元野菜への理解を深め、毎月の献立票に「給食だより」の欄を設けて旬の野菜等の説明を入れたり、給食時の指導材料として「学級のみなさんへ」というプリントを各学級に配布したりしている。			
事業対象	幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		210,058	227,184
内一般財源			42,684	53,550	195,022	
内国・県補助金						
内受益者負担			167,374	173,634	178,090	
人件費 ②			88,020	74,456	74,456	
総コスト①+②			298,078	301,640	447,568	
実績と成果		区 分	単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	給食材料費	千円	180,445	187,301	187,548
		内市費	千円	13,071	13,667	9,458
		内保護者負担金	千円	167,374	173,634	178,090
	事業成果	給食人数	人	4,073	4,062	4,015
		給食数	食	697,127	710,850	738,760

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	食材の値上がりに対応するため、平成22年4月よりの給食費の値上げとともに市からの助成を受け、メニューの工夫・食材のやりくりに努力を重ねて安全な給食の提供ができた。ただし、平成26年4月からは消費税増税に伴い、消費税分のみ給食費に転嫁している。地場産物としては、米はすべて奈良県産米であり、ねぎ・鶏卵は市内産でまかなっている。季節の食材としては柿・いちご・酒かすも使用している。地場産物への理解を深める等食育の一環として今後も積極的に取り入れたい。			
事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応 ・給食業務の外部委託への移行 ・現在の両給食センターを統合した新給食センターの円滑な給食事業 ・地産地消に関する取組み 			

評価を受けての改善点(過去3年間)	アレルギー対応については、平成27年9月から新学校給食センターに設置された特別調理室で、まずは卵、乳、えび、かこの4品目のアレルギー食品について、対応食を実施する。新センターでの調理・配送の外部委託についても、プロポーザルにより、最善の業者が決定しており安全・安心なおいしい給食の実施に向け、調整を図っている。また、地産地消については、地元食材を献立の工夫等によって取入れ回数の拡大を行いたい。それとともに、関係機関と連携を強化し安定的な供給が可能な組織作りも重要となってくる。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	9月より新学校給食センターの外部委託業務が開始しますが、今までと同じく食の安全・アレルギー対応等は子どもたちの心身の健全な発達のための重要課題です。今後も、安全安心で栄養バランスのとれたおいしい給食の提供に取り組んでください。 事業目的に対して事業内容が適切である。地産地消への取り組みも評価できる。平成27年度から大きく事業環境が変わることが注目すべき点で有り、円滑で問題の無い移行と、サービスの質の維持・効率化を進めていただきたい。
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	新学校給食センターでの調理・配送等の業務が、直営から外部委託へと変更されるが、これまでと同様に食の安全・安心に配慮し、栄養バランスを考慮した給食の提供の推進を図りたい。アレルギー対応については、独立した特別調理室において4品目のアレルギー物質に対応するよう進めている。地産地消についても、地元産の食材を納入方法を考え優先的に取り入れ、地元産使用割合を高めていきたい。また、安定供給に向けた組織作りも重要となってくる。さらに、試食会、給食指導を通して食育教育も新学校給食センターの稼動を期により充実していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	6
事務事業名	学校給食センター建設事業	担当課名	学校給食センター
係 名		施設名	学校給食センター

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	安全・安心～安全がまもられ、安心して暮らせるまち～		
	政策目標	社会生活の安全性の向上		
	施策目標	食に対する安心感を高める		
事業の目的	(1) 学校給食衛生管理基準に基づく、安全で安心な給食の提供。(2) 栄養バランスを考えたおいしい給食の提供、(3) 食育の推進、(4) 地産地消の推進、(5) 効率的な運営。			
事業の内容	新市建設計画において計上され、それに基づき現存の両学校給食センターの老朽化した施設の改築と設備の充実を図るため、新学校給食センターの建設工事を実施した。 事業内容は、S造(鉄骨造)一部2階建・建築面積1,885.68㎡、延べ床面積2,313.90㎡の規模となっている。 また、内部は学校給食衛生管理基準に沿った完全ドライシステムを採用し、アレルギー食にも対応できる独立した特別調理室も設置している。			
事業対象	小、中、幼の児童、生徒、園児			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 24年度 ～ 平成 26年度 間

(実施内容)

		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		199,712	1,360,746
内一般財源			85,165	703,495	80,914	
内国・県補助金			114,547	657,251		
内受益者負担						
人件費 ②			14,998	14,998	7,535	
総コスト①+②			214,710	1,375,744	88,449	
実績と 成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業 実績	設計管理費等	千円	39,480	13,500	
		解体造成費等	千円	160,232		
		建築費等	千円		1,346,760	
		備品消耗品費等	千円			80,914
	事業 成果	延べ面積	㎡		2,313.90	
		給食センター	㎡		2,295.33	
		駐輪場	㎡		9.57	
		受水槽ポンプ室	㎡		9.00	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>本事業は、新市建設計画に基づく学校給食センター建設事業を実施したものである。本事業の実施により、学校給食衛生管理基準に沿ったドライシステムで、より衛生的に、安全で安心な給食の提供を行うことが出来る。</p>			
事業の課題・問題点	<p>建設事業としては、工期内に、設計どおりの施設が完成し、課題・問題点は無い。しかし、今後の運営面については、2学期給食開始をするなかで、今までの直営方式から、一部の調理、配送業務を委託するため、今まで以上に安定的、衛生的、効率的な運営を目指すために、委託事業者への指示、連携が課題となる。 また、おいしい給食の提供、アレルギー対応食、地産地消の推進、食育等も今後の課題となる。</p>			
評価を受けての改善点(過去3年間)	今回初めての事業のため、改善点なし			

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>両学校給食センターの老朽化した施設の改善と設備の充実を図るため、新学校給食センターの建設は、安定的、衛生的、効率的な運営ができ、安心で安全な給食の提供ができよいことである。一部の調理、配送業務を委託するとのことですが、新学校給食センターの給食開始までに連携をとり、安全安心な給食の提供に取り組んでください。また、香芝市と広陵町など給食センター事業を共有する動きも出てきている。センターのアクセスも悪くないので、今後近隣市町村との連携も視野に入れ、柔軟に対応していただきたい。 計画通りに事業が遂行していると考えられ、衛生管理、アレルギー等への取り組みなど現代基準の設備が整えられることも素晴らしい。事業課題に挙げられているように、今後の委託運営について未知数な点が多いので、一抹の不安を覚える。全市提供ということで、まずは安全面において食中毒など決して発生させないように細心の注意を払っていただきたい。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>建設事業としては、工期内に、設計どおりの施設が完成し、課題・問題点は無い。今後の運営面については、2学期給食開始をするなかで、今までの直営方式から、一部の調理、配送業務を委託するため、今まで以上に安定的、衛生的、効率的な運営を目指すために、委託事業者への指示、連携を強化して、安全・安心な学校給食の提供に努めたい。 また、おいしい給食の提供ほもちろんのこと、アレルギー対応食、地産地消の推進、食育等も含め、最新の設備を駆使して円滑な学校給食事業の推進を図りたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	7
事務事業名	葛城歌壇短歌大会	担当課名	図書館
係名		施設名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	伝統文化を継承するとともに新たな文化・交流を生み出す		
事業の目的	葛城市ゆかりの万葉歌人・柿本人麻呂と、葛城市出身で日本芸術院会員・前川佐美雄の二人の偉大な歌人を顕彰し、短歌のふるさと“葛城”を目指すとともに、日本文化の継承と言語文化の創造を通して、生涯学習の拠点づくりに資する。			
事業の内容	市内すべての小・中学校をはじめ、市民はもとより県内、さらには全国、海外に向けて短歌を募集し、応募作品集を作成し贈呈。2回の選考を経た入賞作品には、短歌大会を開催し表彰状と盾を贈る。大会当日は、受賞の有無にかかわらず、参加者の作品について、撰者より講評を行う。			
事業対象	小学生から大人までの市民をはじめ、すべての人々。			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
	事業費 ①		879	1,152	1,152	
	内一般財源		698	974	972	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		181	178	180	
	人件費 ②		2,138	2,343	2,343	
	総コスト①+②		3,017	3,495	3,495	
実績と成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	選者講師謝金	千円	280	260	280
		印刷製本・送料	千円	489	759	759
		短歌講座講師	千円	20	20	20
		各種奨励費	千円	113	113	113
	事業成果	応募者数	人	1,329	1,232	1,300
		応募作品数	首	2,186	2,140	2,180
		大会参加者数	人	84	80	85
短歌講座参加者		人	26	31	30	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	平成9年創設の本事業も昨年度18回目を終了、毎年、市内はもとより、県外や海外からも合わせて1,200人を超える皆様からご応募いただくことができ、ここ葛城が“短歌のふるさと”として定着、日本文化の継承と言語文化の創造を通じた生涯学習の拠点づくりの一翼を担うことができていると思います。また、短歌講座を合わせて開講、講師に添削・解説してもらうことにより、初心者・上級者を問わず、その力を高めることができていると思います。そして、入賞者に賞状とともに盾を授与させていただくことで、入賞者にとっても喜びが増し、更なる励みとなっていると思います。さらに、小中学生の夏休みの課題のひとつとしてもらうことで、家庭でも、子ども達の感受性を発見できるものになっていると思います。			
事業の課題・問題点	応募者数の維持・発展が課題です。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	入賞者への記念品等、限られた予算の中で、市民の皆さまに認知していただき、広めていくため、配布先施設等を拡大し、歌壇の存在が多くの人目に触れるように工夫します。また、図書館のみにとどめず、新しいコラボレーションを工夫するため庁内連携等を図ります。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	郷土の伝統文化を継承していくのは大切なことである。短歌の応募数も増加しているとのことで、一定の成果が上がっていると思われる。また、小中学生の年代で経験するのは大変よいことである。これからも、多くの市民に認知していただくよう取り組んでください。 小中学校や海外への発信など、短歌のふるさと葛城を目指す取り組みは評価できる。国内の他地域でも同様の取り組みが有り、さらに成功している例もあるので、工夫やアイデアをこらして発展させていただきたい。葛城市独自の取り組みを期待する。
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	市民に対して郷土の伝統文化を継承することを基本に考えながら、広く全国及び海外へも発信し『葛城歌壇』の名を広め、市外からの人気を市民の刺激となるよう、国内外・他地域の取組を参照しながら、常に最良の方法を模索し発展に努めます。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	8
事務事業名	読書活動支援・講座	担当課名	図書館
係 名		施設名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	市民に図書館を身近に感じていただき、図書館利用を促進する。 また、読書活動の推進や知識を身につけるため、おはなし会などボランティア団体 に対しての支援を行う。			
事業の内容	図書館を身近に感じていただき、読書活動の支援策として、おはなし会の協力を得 ながら、毎月定例開催のおはなし会や小・中学校・幼稚園等へおはなし配達を実施。 また、図書館主催で短歌講座や文学講座、クイズラリー等を実施する。			
事業対象	市民（大人・子ども）、おはなしボランティア、学校・幼稚園・保育所の先生等			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		40	40
内一般財源			40	40	40	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			1,051	1,173	1,173	
総コスト①+②			1,091	1,213	1,213	
実績と 成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業 実績	子ども向け講座	千円	20	20	20
		文学講座	千円	20	20	20
	事業 成果	子ども向け講座	人	690	705	700
		文学講座	人	42	50	50

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>毎月のおはなし会とおはなし配達は、参加者と児童・生徒に非常に好評です。また、クイズラリーも子ども達が楽しみ来館してくれています。これら図書館事業の協力団体であるおはなし会のボランティア養成講座の企画にあたって、おはなし会と図書館がそれぞれ学びたいこと、学んで欲しいこと等を検討し実施しているため、双方が満足でき、協力・連携体制も強化されつつあります。ボランティアの人数はほぼ横ばいですが、活気づいてきています。質の高い講座を目指して開講することで、参加者にも満足いただけたと思っています。</p>			
事業の課題・問題点	<p>ボランティアとの関係は良好で、協力・協働も深化していますが、ボランティアを志す人を育成し、円滑に知識や技術を習得できるように努めることが課題です。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>おはなし会やおはなし配達などが一層充実するよう、職員も技術向上に努めています。ボランティアの方々も楽しみながら活動できる状況をつくるため、講座は本当に必要なことに焦点を合わせ、回数を減らして内容を精査して要望に沿ったものを実施できるよう努めています。将来的な維持発展につながるよう、ボランティアに参加する方々に負担をかけないよう配慮しながら進めています。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>事業対象者の学校・幼稚園・保育所の子どもは十分目的を達成できている。しかし、大人対象の支援・講座は横ばい状態である。今後大人に対しての事業の啓発を再検討する必要があると思われる。また、この事業に欠かせないボランティアの育成が急務である。</p> <p>子どもの本離れが加速する状況の中、図書館の利用促進、読書支援として積極的に図書館から出向くという事業は理にかなっていると考える。しかし、ボランティアの力に頼っている状況の中では、少し事業継続の面で難しいところがあるようにも思える。今までの枠組みだけにとらわれない新しいアイデアを検討することも同時に進めた方が良いのでは無いかと考える。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>限られた職員体制の中で現状を維持・発展させることができるよう、協力いただけているボランティアの更なる育成に努めたいと思います。そのため、大人対象の支援・講座の開催に努めます。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	9
事務事業名	ブックスタート事業	担当課名	図書館
係 名		施設名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	子育てと生きがいの両立		
	施策目標	地域で支えあいながら、楽しく子育てができるようにする		
事業の目的	赤ちゃんと保護者が触れ合う機会をつくれるよう絵本を介して、行政と地域が連携して子育てを支援する。			
事業の内容	毎月の4ヵ月児健診時に、健康増進課、おはなし会ボランティア等と協力し、絵本を読み聞かせ、保護者と乳幼児が絵本を介して親子のふれあいのきっかけとなるよう、行政と地域が共働して子育て支援を行っている。			
事業対象	4ヵ月児健診対象の赤ちゃんとその保護者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		272	288
内一般財源			272	288	288	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			883	928	928	
総コスト①+②			1,155	1,216	1,216	
実績と成果	区 分	単 位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)	
	事業実績	ブックスタート	千円	272	288	288
	事業成果	ブックスタート	組	330	267	270
		絵本講座	人	23	62	60

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	ブックスタートは、赤ちゃんと保護者が心ふれあうひとときを持つきっかけになり、親子の愛情を育む上で効果を上げています。この事業の中で、おすすめ絵本の紹介や子育て支援センターの催し案内も行っていることから、図書館利用者や子育て支援センターの催しへの参加者も増加しています。			
事業の課題・問題点	ブックスタートにはボランティアの協力が不可欠です。そのボランティアの育成と、ブックスタートを受ける方も、ボランティアにかかわる方も、双方が楽しく有意義なひとときを共有できるよう調整しながらボランティアのスキル向上のための研修の機会の創出が課題です。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	4ヵ月児健診においては、ボランティアの方々のご協力を得て赤ちゃんに本を読んだり、手遊びをするなど、市民と地域、そして庁内が連携した取組を行っています。昨年からは試行的に実施した“こんにちはえほん”(2ヵ月児の保護者への啓発)も、これまでの“ブックスタート”(4ヵ月児健診児への読み聞かせ)への取組に相乗効果を上げています。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	絵本を通しての親子のふれあいの場を提供することは大変有意義であり、子育て支援に十分貢献している。また、2ヵ月検診で啓発し、4ヵ月検診で実施するという企画は、必ず参加できるメリットがあり有効である。今後も行政と地域が連携して実施してください。この事業も、人材の確保が大切である。担当課が連携して積極的に市民に訴える有益な取り組みであると評価できる。おこなう内容、取り組みとも素晴らしいものである。ただし、事業主体がボランティアであり協力が不可欠であるという一点のみに事業継続の難しさがあると思われる。教育系大学の学生ボランティア等も含めたボランティアの確保、嘱託職員の配置等事業継続に向けて課題を克服していただきたい。
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	ボランティアの拡充に努めるため、教育系大学の学生ボランティア等も含めたボランティアの確保に努めていきます。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	10
事務事業名	成人式式典事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施設名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	新成人が大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、国民の祝日に関する法律に基づく成人の日に合わせて本事業を行う。大人としての責任を感じ、義務を果たすことの必要性を実感するための機会としたい。			
事業の内容	新成人による新成人のための成人式にするために、新成人からスタッフを募集し、企画・運営等について協議を重ね、会場舞台設営や飾り付け等の諸準備も行うなどして、本事業を実施する。			
事業対象	新成人及び新成人関係者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	単 位	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①			998
内一般財源				998	912	1,000
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②				4,624	4,747	4,747
総コスト①+②				5,622	5,659	5,747
実績と成果	区 分		単 位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	決算額	千円	998	912	1,000
		スタッフ会議	回	12	6	15
	事業成果	参加者数	人	270	278	300
		対象者人数	人	351	381	390

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>新成人からスタッフを募集し、新成人が生み出すアイデアを多く盛り込み成人式を企画し、新成人が最も望むであろう形で成人式を実施する事が出来、参加者からの反応は概ね良いものとなっている。</p> <p>また、これまでの成人式は結果として、記念品の作成に多くの予算を費やしていたが平成25年度からは、参加したことを喜べる「記憶に残る」成人式を目指し、平成25年度はダンス、平成26年度は、ビデオレターとして恩士のビデオを流しながら最後には本人が登場、また、恩士のギター演奏や恩士とのトークなどで、会場は盛り上がりを見せ成功裏に終えたと考えている。</p> <p>このように従来とは違ったスタイルでの成人式を実施することが、他市町村と比較して高めの参加率につながっていると考えられる。</p>			
事業の課題・問題点	<p>新成人スタッフを中心となって事業を推進するにあたり、スタッフが毎年更新される事と、スタッフの能力や積極性に左右され、安定した成果を生むことが難しい。また、スタッフは毎年、公募になるが集まりにくい。</p> <p>行政側のこれまでの経験や実行委員会のノウハウを上手くスタッフ側へ伝達し、それぞれの年度の新成人の色を出してやるのが、今後のそして永遠の課題である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>年度を重ねるごとに、行政が培ってきた経験を新成人スタッフへ伝達し、スタッフのアイデアに幅と深みが生まれるように、指導・助言を行っている。</p>
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	<p>式典後の第Ⅱ部で、新成人スタッフを中心となって事業を企画・運営することは大変有意義である。できればもう少しスタッフの人材確保が今後の課題であると思われる。また事業の目的でもある、大人としての責任を感じ、義務を果たすことの必要性を実感できるような企画が薄れてきているように思う。今後検討していく必要があるのでは。</p> <p>新成人が自ら創りあげる成人式という部分が事業の肝であり、取り組みとして良い。しかし、人数の確保、打ち合わせへの参加率に問題があるように見受けられる。行政から経験を伝達するのでは無く、新成人と昨年の新成人を組み合わせノウハウを引き継いでいくなど、更なる工夫が必要ではないか。新成人が意見を積極的に出しているのか、行政主体になっていないか、資料では見えない部分を重視していただきたい。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>毎年、新成人が企画・運営スタッフとなるため、安定した成果となることは難しいが、積み上げたノウハウや経験など、可能な限り情報提供や助言を行ってゆくとともに、先輩との情報交換や新成人目線でのノウハウの伝達など考えていきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	11
事務事業名	生涯学習人材バンク事業	担当課名	生涯学習課
係名	生涯学習係	施設名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	豊かな知識・経験・技能等をお持ちの市民にボランティア活動として学校教育や社会教育のお手伝いをいただき、本市教育のより一層の振興を図ろうとするものである。 健康で生き甲斐のある明るく住みよいまちづくりに役立つことを目的に、人材バンク募集・登録及び派遣により生涯学習の推進を図る。			
事業の内容	人材バンク募集及び登録に基づき、自主的に活動している市内の団体やグループ、サークル等の学習活動の支援のための斡旋や派遣を行う。			
事業対象	市内自主活動グループ等			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		26	24
内一般財源			26	24	30	
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②						
総コスト①+②			26	24	30	
実績と成果	区 分	単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)	
	事業実績	決算額	千円	26	24	30
	事業成果	登録者数	人	65	64	60
		派遣講師数	人	43	34	50
		受講者数	人	73	34	50

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>人材バンクの指導分野は新しいジャンルのものが増えてきているが、平成25年度から登録者数は高齢化もあり減少傾向である。 派遣依頼数は極僅かであり厳しい状況が続いている。他課が実施する事業への講師派遣の実績があるが、今後も積極的に新規開拓を行っていかなければならない。</p>			
事業の課題・問題点	<p>派遣依頼数が少ないため、他の事業へ積極的に講師を紹介し人材バンクの利用を促したい。 また、講師の紹介に際して、現在のプロフィールでは大まかな指導分野のみ記載しされているが、詳細な指導方法の情報を追加するなど検討して行きたい。 また、近年、個人からの派遣依頼の問い合わせが増加し、元来は団体からの依頼のみ受託しているのが、個人の問い合わせにも紹介を行っている。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	市広報での紹介や他課への事業説明と講師紹介を行っている。
-------------------	------------------------------

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>人材バンクの登録者が減少傾向にあるとのことであるが、派遣依頼数も少ないことから有効的に活動できていないように思われる。この事業の啓発にもっと力を注いでいく必要がある。</p> <p>現時点では効果的に機能しているとは見受けられない。利用方法や告知に問題があるはずなので事業の必要性の検証や事業の再構築が必要ではないかと思われる。内容から考えると自己総合評価に疑問を感じる。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>市広報誌への掲載だけでなく、行政内部の他の事業や学校など機会のある度にPRして行きたい。 また、公民館分館長会議などでも公民館活動での活用に、さらにPRに努めて行きたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	12
事務事業名	青少年健全育成事業	担当課名	生涯学習課
係名	子ども・若者育成支援係	施設名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	次代を担う青少年の健全な育成を地域ぐるみで図る。			
事業の内容	市青少年健全育成協議会を組織し、所属団体の校長会・生徒指導主任者会・PTA協議会・県青少年指導員・高田警察署少年補導員の5団体間の連絡調整を行い、下記の活動を推進する。 ①広報・啓発活動の推進(市広報誌への掲載・駅等での啓発活動) ②非行防止と環境浄化運動の推進(遊戯施設等での巡視活動)			
事業対象	市内青少年			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	単 位	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①			400
内一般財源				400	400	400
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②				1,902	1,915	1,915
総コスト①+②				2,302	2,315	2,315
実績と成果	事業実績	区 分	単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
		会議	回	4	4	4
		研修会	回	0	1	1
		巡視活動	回	2	2	2
	街頭啓発	回	2	2	2	
	事業成果	会議	人	73	80	80
		研修会	人	0	3	5
		巡視活動	人	42	45	50
街頭啓発		人	68	68	70	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>各種イベントでの啓発活動やのぼり旗の設置、巡回指導など当初の活動計画どおりに実施できたが、メンバー自身各々の仕事を持ちながらの活動でもあり、限られた時間で互いに協力して活動できるような取り組みを進めることが必要であると考えます。</p> <p>巡視活動・啓発活動は各所属団体でも実施しているが、実績と成果に掲載した数は市青少年健全育成協議会が全体で取り組んだ数を示す。</p>			
事業の課題・問題点	<p>7月の「青少年の非行・被害防止強調月間」及び11月の「子ども・若者育成支援強調月間」についての啓発活動を行っているが、市民が意識を持って自分たちの手で地域の青少年を育成するという行動に結びつくところまでには達していない。</p> <p>また、生涯学習課が業務の一部として担当する中で青少年の問題は大きな課題であり、この課題に専門的に対応する機関（他市にある青少年センター）の設置を現在検討中である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>子ども・若者育成支援事業も含めた中で、学識経験者の意見も踏まえ部局内とともに、福祉部門も含め「青少年センター」設置の検討をしていく。</p>
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>青少年健全育成は、地域ぐるみで行う必要がある。地域への啓発・情報提供は不可欠である。時代の変化に即した活動に取り組んでください。また、青少年に関する諸問題・課題を総括して対応していける青少年センターの設置を検討中ということなので、実現できるよう前向きに検討をお願いしたい。</p> <p>担当課を超えて青少年の育成に市として様々な取り組みがなされており、どれも重要な事業であると思われる。本事業も教育機関、警察、民間と共に長年行われているが、課題にあるように市民が地域の青少年を育てるといふ部分が世間的にさらに薄くなっていると思われる。新しい取り組みも交えて進めていただきたい。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>市民が地域の青少年を育てるといふ点では、現在の街頭啓発や有線・無線放送での啓発では限界があると感じる。多くの人に直接PRできる公園まつりやゆめフェスタなどでの協議会の活動に工夫を凝らし考えて行きたい。</p> <p>青少年センターについては、子ども・若者育成支援事業とも併せ、関係部局とともに引き続き協議して行く。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	13
事務事業名	学校・地域パートナーシップ事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施設名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	学校教育の充実と地域・家庭の教育力の向上を図り、地域住民と生徒との異世代交流を通して地域の連帯感を高める。			
事業の内容	学校教育の充実と地域・家庭の教育力の向上を図るため、市内各小・中学校に学校支援地域コーディネータを設置し、学校支援ボランティアの派遣等を行いながら環境整備支援活動等を中心に支援を行っている。			
事業対象	市民及び市内小中学校教員			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 23年度 ～ 平成 27年度

(実施内容)

		区 分	平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		3,151	2,999
内一般財源			1,315	1,000	1,000	
内国・県補助金			1,836	1,999	2,000	
内受益者負担						
人件費 ②			1,317	1,353	1,353	
総コスト①+②			4,468	4,352	4,353	
実績と成果	区 分		平成 25 年度実績	平成 26 年度実績	平成 27 年度(目標)	
	事業実績	運営委員会に係る経費	千円	507	469	469
		教育支援活動に係る経費	千円	2,644	2,530	2,531
	事業成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>これまでの事業は、学校の花壇整備など環境整備中心の支援であり、地域住民や学校を訪れる保護者などから校内の花壇が見違えるほど美しくなったとの声が聞かれ、本事業が一定の効果をあげることができたと考える。さらに平成25年度より収穫した野菜などを使った食育やミシンなど家庭科支援にも取組みを行ってきている。また、コーディネーターにはその他様々な学校行事にも補助員としてその都度、協力いただき学校・生徒からも信頼されてきている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>支援を行うためのボランティアの確保が当初からの課題であったため、それぞれの学校でPTA総会での呼びかけや保護者への案内文の発送等で募集を行っていただく事により一定人数を確保する事ができた。開始から4年が経過し、この事業そのものが一定認知されてきている。更に学校との連携を行い支援ボランティア募集の記事を学校だより等に掲載し、地元住民の方を対象に配布するなどして一層の周知を図っていく。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>学校行事とPTA行事の間で、保護者のボランティアの方々にはご苦労いただいている。コーディネーターを中心に本事業の理解を広め、なお一層の効果を上げるよう検討したい。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有識者意見	<p>地域とともにある学校を目指すため、この事業は重要であり年々活動内容も多様化して成果を上げてきている。今後も地域・家庭の教育力の活用を利用し、よりいっそうの効果を上げるよう取り組んでください。</p> <p>コーディネーター、ボランティアが大変活躍され、優れた取り組みがなされていると思われる。ボランティアの人数からみてもその有益性を評価できるのでは無いか。地域全体で子どもを育てる市民意識醸成にも繋がる事業である。</p>
-------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>事業開始から4年が経過し、学校、保護者、地域の理解が相当程度深まってきたと考えている。引き続き事業を実施して行くとともに、アドバイザー・コーディネーター間の情報交換や連携などをさらに深め、また、ボランティアの方々の理解、協力をいただきながらより効果のある事業として行きたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	14
事務事業名	生涯学習まちづくり推進大会	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施設名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	参画・活力～市民と行政が目標を共有し、ともに取り組むまち～		
	政策目標	市民参画による協働のまちづくりの推進		
	施策目標	地域コミュニティ・団体を育てる		
事業の目的	主に市内の小・中学校生の日頃の思いを発表する場とモデル分館(毎年2館指定)が、1年間の生涯学習活動の成果について発表を行う場として本事業を捉えており、明るく楽しい「生涯学習まちづくり」の推進を目指している。			
事業の内容	①平成26年度モデル分館として指定を受けた長尾公民館及び北花内近鉄前公民館による生涯学習活動発表 ・伝統文化の紹介、地域文化継承及び文化資源の保存等や地域防災活動の取組 ・花いっぱい活動や講座・教室等を通じた区民の交流の機会・場づくりを目指した取組 ②モデル分館指定を受けている2分館による手芸、絵画、陶器、写真等の展示 ③市内小中学校児童・生徒による学校での体験学習や生活発表的な作文の朗読 ④菊花展表彰式			
事業対象	市民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算
		事業費 ①		544	626	600
事業コスト (単位：千円)		内一般財源		544	626	600
		内国・県補助金				
		内受益者負担				
	人件費 ②		1,161	1,175	1,175	
	総コスト①+②		1,705	1,801	1,775	
実績と成果	区 分	単 位		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
		参加人数	人	520	552	600
	事業実績					
	事業成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>平成26年度にモデル分館と指定された2館による、各地域における伝統文化や新たな取組等の紹介が行われ、地域文化を再認識、そして新しい時代に即した文化の創造していく地域ぐるみでの取り組みなど、生涯学習活動を通じて地域住民の交流の輪を広げる良い機会となっていることに加えて、小中学生の作文発表や文化団体による発表などは、人生の糧となり得る貴重な体験をすることが出来る事業と考えている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>モデル指定分館(2館)の発表について、残り16分館となり、複数分館を抱える大字については再度の活動報告を求められるケースが出てきている。本年度についても例年どおり輪番での2館で予定をしているが、特に対象者の少ない分館など昨年度と同様に複数分館を合同で行いたいとの意見もあり、これらの分館については、実情に応じ合同での事業や一ヶ大字での事業についても当該分館の目線で発表いただくなどの対策を講じている。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>指定した分館に年度当初に行っている説明会では、不安を口にされる方も多く見受けられるが、普段行なっている活動に若干の工夫や追加を行なうことなどを提案。生涯学習を糸口として、地区住民が地域の伝統行事や歴史、生活様式などを通じ、希薄になりつつある地域共同体の再生など目標を持って取り組むことの重要性を理解してもらい、共通した目的を達成することの充実感を味わってもらえるよう指導している。</p>
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 見	<p>人間関係の希薄化が進む中、この生涯学習活動の発表は、地域住民の交流の場となり「生涯学習まちづくり」の推進に役立っている。公民館活動の活性化にもつながり、今後とも課題を常に検討し、継続していただきたい。</p> <p>市内各地域にスポットを当て、住民が主役となれる事業である。年度を重ねる中、事業ができる分館はおそらくすでに終えていると思われ、課題問題点に挙げられたように今後は事業実施が難しい分館がモデル分館を担うことが多くなるということなので、柔軟に対応していただきたい。</p>
---------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>希薄になりつつある地域共同体の再生に向け、そのきっかけづくりとして引き続き行ってゆくとともに、今後のモデル分館の発表については、これまでのノウハウや情報を可能な限り公開、分館との相談を密にして実施して行きたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	15
事務事業名	子ども・若者育成支援事業	担当課名	生涯学習課
係 名	子ども・若者育成支援係	施設名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	進学や就職をせず社会とのつながりが希薄になることで、自宅以外での生活の場が失われている子どもや若者に対し、法にもとづき「葛城市子ども・若者支援地域協議会」を設置し、行政分野や関係機関と連携して適切な支援を継続的に講じることにより健全な社会人として生活できるようサポートする。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年10月7日に設置した「葛城市子ども・若者支援地域協議会」の運営 代表者会・実務者会および個別ケース検討会議の開催 開催議事運営・議事録の作成 ・相談窓口および面談室設置（當麻文化会館内サポートルームほか） 相談日 週4回（月・木・金・土）午前10時～午後4時 継続的支援や関係機関等への紹介の実施 ・継続的な支援の実施 			
事業対象	社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者とその家族			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		7,611	7,751
内一般財源			7,611	7,751	7,751	
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			8,340	8,569	8,569	
総コスト①+②			15,951	16,320	16,320	
実績と 成果	区 分	単 位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)	
	事業 実績	決算額	千円	7,611	7,751	7,751
		相談室設置	箇所	1	1	1
		面談室設置	箇所	1	1	1
	事業 成果	相談件数	件	46	56	60
		相談回数	回	775	875	900

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	「葛城市子ども・若者支援地域協議会」について、個別ケース検討会議を35回開催した。関係機関等と調整機関の相互交流も引き続き増加している。 相談件数・回数についても引き続き増加傾向にあり、今後も続くものと予想される。ケース毎に必要な支援をケースワークすることで経済・効率性の最適化を図っている。平成26年度はアセスメント面接と関係機関等へのリファーや情報提供のみの短期間で終了するケースと継続相談が必要となるケースがおおよそ半々であった。相談の大半で主訴の解消や改善が見られている。			
事業の課題・問題点	市関係部局や関係機関等の相互連携がより円滑に行われるように「葛城市子ども・若者支援地域協議会」の運営を進めることと、相談件数・回数の増加や福祉部門との連携を踏まえ相談体制をより充実させていくことが課題である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成23年度 葛城市サポートルームの相談日を週1日から週4日へ拡充。 平成24年度 子ども・若者育成支援係に一般職職員を1名配置。 〃 葛城市サポートルームの臨床心理士を日替わりから専任に変更。 平成25年度 臨床心理士(非常勤:週1日)を1名増員。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	対象者が義務教育終了後から40歳までと、所属機関がなくなってからの若者を支えるこの事業は、欠かすことができない。関係機関と連携を密にし、啓発に力を入れ、より相談しやすい体制づくりに取り組んでいただきたい。 評価は適切になされていると思われる。35才までを対象者としている中で、市内にこれだけのニーズがあること、件数が増加していることを注目したい。学校教育課の事業と重なる部分があると思われ、同一対象者であっても状況によって課が異なるということにメリット・デメリットの両面があると考えられる。課を超えた連携が必要であり、サービスを受ける側に立てば総合窓口のような機関が必要ではないか。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	今後も相談件数は、引き続きその相談内容の多様化とともに増加傾向にあると考える。様々な相談に対し、関係部局との連携がより重要になってくる。ケースごとの検討会議や情報共有などをより密にし相談業務を行って行きたい。 また、このことを踏まえ、福祉など関係部局とともに総合相談窓口の一本化に向け、協議を進めて行きたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	16
事務事業名	公園まつり実行委員会業務	担当課名	中央公民館
係 名	中央公民館係	施 設 名	中央公民館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	地域住民が集う中で、市民ひとりひとりが仲間としての絆を強め、地域文化への理解をより一層深めることで誇りをもった活力あるまちづくりへの参加を目的とする。			
事業の内容	葛城市公園まつり実行委員会を主催者として、葛城市体育協会および区長会をはじめとする約22団体の協賛により屋敷山公園一帯で野外イベント（太鼓や踊り、戦隊ショー、パフォーマンスショー、演劇、フラダンス、吹奏楽等）を実施するとともに、模擬店、フリーマーケットの出店、盆栽の展示即売会、似顔絵、古本市にニュースポーツなどを同時に行う。			
事業対象	市内地域対象住民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/> 区分指定無	<input type="checkbox"/> 平成	～	平成 間

(実施内容)

		区 分	単位	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算
		事業コスト	事業費 ① (千円)			1,500
内一般財源(千円)				1,500	1,500	1,500
内国・県補助金(千円)						
内受益者負担(千円)						
人件費 ②				2,985	2,978	2,978
総コスト①+②(千円)				4,485	4,478	4,478
実績と成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	決算額	千円	1,452	1,485	1,500
		企画運営委員会	回	1	1	1
		実行委員会	回	1	1	1
	事業成果	参加人数	人	10,000	10,000	10,000
		協賛団体	団体	22	22	22

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	25年度から毎年5月3日開催で確定したことにより、市民のみならず広く周知され、多数の来園者で賑わった。また終日好天に恵まれ、野外イベントをはじめ模擬店、フリーマーケットも大盛況で非常に盛り上がった。			
事業の課題・問題点	昭和50年から40年近く続いている伝統ある事業であるが、毎年の開催であるため、イベント内容については、マンネリ化しないよう工夫を凝らす必要がある。 また、協賛いただいている各種団体の方々には、公園まつりに参加して楽しいひと時を過ごしてもらえよう運営体制を改善していかなければならない。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成24年度から中央公民館に事務局が置かれたことで、準備作業をスムーズに行えるようになった。また駐車場を増やすことにより交通渋滞も解消された。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	伝統のある事業であるが、マンネリ化にならないように実行委員会が主体となって関係団体と検討され円滑に事業が実施されている。今後も活力あるまちづくりに貢献してください。 イベントとしての有効性や内容については問題無いと思われる。実行委員会にほぼ委託しているという状況の中で、企画運営委員会、実行委員会の開催回数が1回ずつという点が気になる。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (課題・学識意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)	今後も活力あるまちづくりに寄与できるよう、本事業の円滑推進に向けて鋭意努力していきたい。企画運営委員会、実行委員会に関しては、中央公民館職員一丸となって綿密に企画、事前準備等行った計画案について、各委員会で討議したうえで承認されるので、今のところ各委員会1回ずつの開催で問題はないと考えています。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	17
事務事業名	地区館教室・講座事業	担当課名	中央公民館（當麻文化会館）
係 名	地区館係	施設名	5 地 区 館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	生涯学習社会の構築を目指す一環として、地域において趣味を同じくする人々や教養を身につけたいと思う人々が地区館に通い、自主的な活動を推進する機会を提供するとともに、交流を深め、活動の輪を広げる。			
事業の内容	市内5地区館（足田、忍海、北花内、磐城、當麻）において、手芸、太極拳、からだにやさしい料理、絵手紙、絵画、いきいき体操、押し花、俳句、書道、ちぎり絵等の教室・講座を各種4回～20回を開催。			
事業対象	市内 在住・在勤者			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	単位	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算
		事業コスト	事業費 ① (千円)			1,082
内一般財源(千円)				1,082	1,144	1,156
内国・県補助金(千円)						
内受益者負担(千円)						
人件費 ②				951	1,343	1,343
総コスト①+②(千円)				2,033	2,487	2,499
実績と成果	区 分	単位		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	各種教室・講座	総回数	134	136	138
	事業成果	参加人数	人	243	276	241

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	例年、2つの教室においてスタッフが同席し、全受講者の学習能力を高めるために新規受講者と継続受講者の学習調整を行うなど、講師とも協力のうえ教室の支援を行っている。受講者が学習していく過程において、他の受講生との繋がりをもつことで、「学ぶ」という共通項のもと人間関係が築かれ、教室に一体感が生じ、教室・講座をより楽しいものと考えていただくことで学習効果が上がるように努めた。			
事業の課題・問題点	新講座・教室開設の要望もあるが、予算と場所の関係もあり、引き続き検討課題事項である。毎年継続して受講しておられる方が多数あり、新しい受講者と習熟度に違いが生じている教室・講座もある。新講座開設の課題と合わせて考えていかねばならない。定員をオーバーした教室・講座が4教室ある。うち3教室は講師の好意と受講者の理解により実施することができたが、1教室抽選を実施した。昨年度に引き続き今後の課題点である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成26年度：受講者の学びのニーズに応えるのに、学習回数の増加を図った。2教室を新しく開講した。 平成27年度：受講者の学びのニーズに応えるのに、学習回数の増加を図った。1教室を新しく開講した。学習内容のマンネリ化をなくしていくため、手芸教室の講師の変更を行った。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	高齢化社会において、地区館教室・講座は通いやすく有意義であり、自主的活動の推進につながっていくものである。今後とも地域の学びのニーズを的確に把握する取り組みを充実させるとともに、誰でも気軽に参加できる地区館活動の推進に力を注いでいただきたい。 地区館の役割、事業内容、参加者の状況から見ても適切な事業だと思われる。ただし、開催回数の面で旧新庄と旧當麻で大きな差があることに疑問が生じる。参加は市内全域から可能といえ、地区館といえども地域の公民館である以上、参加する際に敷居が少し高いと思う人もいるはずである。ニーズのあるところに重点的に展開することも理解できるが、事業目的達成にはニーズの無いところにニーズを起す努力も必要ではないか。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・学識意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	地域の公民館に集うことで遠くに出かけにくい受講者にとっては通いやすく、楽しみにし、生活の潤いになっている。趣味を共にする人と楽しみと喜びを共有し、繋がりをもって学び合う機会を工夫・改善を行いながら継続して提供していきたい。 また、地域との繋がりを深めながら教室開催回数も配慮し、新たな教室・講座の導入など考慮していきたい。	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	18
事務事業名	中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業	担当課名 中央公民館・當麻文化会館
係 名	中央公民館係	施 設 名 中央公民館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	市民等の教育、学術、文化及び教育向上のため、「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。			
事業の内容	<p>『社会教育法』第20条(目的)、第22条(公民館の事業)ならびに『公民館の設置及び運営に関する基準』第3条(地域の学習拠点としての機能の発揮)に基づき、市民等の教育、学術、文化及び教養の向上のための「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。</p> <p>1. 中央公民館 7 教室 [成人⑤：華道、きもの着付け等 子ども②：絵画、茶道] 1 7 講座 [成人⑩：菊づくり、ガーデニング、暮らしのマナー 等 子ども⑦：親子クッキング(土) (日)、 親子お菓子・パンづくり(土) (日)、 親子陶芸(土) (日)、野外活動体験 等]</p> <p>2. 當麻文化会館 1 8 講座 [成人⑬：絵画、パソコン講座(入門等6コース) 等 子ども③：親子おもしろ工作、寺子屋、葛城塾]</p>			
事業対象	市内在住者・在勤者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算
			単位			
事業コスト	事業費 ① (千円)			4,065	4,000	4,326
	内一般財源(千円)			4,065	4,000	4,326
	内国・県補助金(千円)					
	内受益者負担(千円)					
	人件費 ②			11,171	10,753	10,753
	総コスト①+②(千円)			15,236	14,753	15,079
実績と成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	中央公民館	謝金	2,565	2,471	2,896
		當麻文化会館	謝金	1,500	1,521	1,430
		合計	謝金	4,065	4,000	4,326
	事業成果	中央公民館	受講者数	3,426	3,341	4,240
		當麻文化会館	受講者数	2,343	2,085	2,633
合計		受講者数	5,769	5,426	6,873	

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>学習の促進とふれあいの場を提供することを目的に、成人・子ども・親子を対象とした各種教室・講座を実施しています。</p> <p>成人講座では、華道、茶道、書道、料理、着付け、ヨガ、パソコンといった趣味や教養を活かした講座を、子ども・親子講座では「作る楽しさ」を学ぶ、料理やパン・菓子づくり、陶芸を開催しました。</p> <p>また、夏休みには子ども向けのイベント講座として、野外活動体験、寺子屋を開催しており、どの講座も人気で、受講者の受講意欲や関心が非常に高く、親子対象講座を中心に多くの講座が抽選となっています。</p>			
事業の課題・問題点	<p>教室・講座は受講料が無料(教材費等は受講者負担)のため、定員確定後辞退される方がおられ、教材を発注済みの場合、費用負担をお願いしております。</p> <p>その他では、同じ教室や講座を連続して受講される方が一部見受けられます。(定員を超える申込があった場合、抽選時に新規応募者を優先しています。)</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>受講者のニーズに応じて、新たな講座を開設することが出来た。人気があり、抽選になるような講座については、講師の都合に左右されるが、複数回開催するなど対応を検討していきたい。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>教室・講座とも内容が豊富で成果を上げています。これからも地域住民の学習ニーズを的確に把握し、教室・講座の精選を行い市民の教養の向上に努めてください。また、この教室・講座を地区館教室・講座につなげていってほしい。</p> <p>事業実績を見て内容の精査、講座の組み替えを行うなど、適切に事業が行われていると評価できる。内容もバラエティーに富んでおり、充実している事業だと思われる。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(課題・学識意見を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>今後、より一層地域住民の学習ニーズは多様化すると予想されるので、様々な情報を分析し、葛城市独自の真新しい教室・講座の開設も検討するとともに、新規受講生を増やせるよう本事業のPRを積極的に行っていきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	19
事務事業名	文化振興事業	担当課名	新庄・當麻文化会館
係 名	総務係・文化会館係	施設名	新庄・當麻文化会館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～					
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり					
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする					
事業の目的	市民に質の高い文化に触れる機会を設け、葛城市芸術文化を発信し、創出する。						
事業の内容	<p>魅力ある自主事業を展開することによって、新たな芸術、文化ファンを増やし、地域の文化水準の向上を目指す。</p> <p>毎年、コンサート、子ども劇場、お笑い劇場等の公演を実施している。また、市民参加・参画型事業として「J-pop限定のど自慢」や葛城市民劇団「風塾」「くすのき」等による演劇公演も実施する。</p>						
事業対象	市民及び近隣市町村の住民						
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成	～	平成	間

(実施内容)

		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		14,495	12,282
内一般財源			7,505	7,117	9,450	
内国・県補助金						
内受益者負担			6,990	5,165	7,300	
人件費 ②			6,726	6,743	6,743	
総コスト①+②			21,221	19,025	23,493	
実績と成果		区 分	単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	自主事業入場料	千円	7,189	5,165	7,300
		自主事業委託料等料	千円	14,495	12,282	16,750
	事業成果	自主事業入場数	人	3,698	2,951	3,500
		自主事業(有料)開催数	本	4	2	4
		自主事業(無料)開催数	本	6	6	6

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	市民参加・参画型のJ-pop限定のど自慢、市民劇団、クリスマスコンサート等の公演事業は周知がかなり進み、市民が手軽に文化や芸術と触れあえる機会、自らが創造、発信するかけがえのない機会として大変有意義なものとなっている。			
事業の課題・問題点	有料の事業については、市民が興味や関心、期待感を持ち、満足していただける事業を実施することで、集客人員の増加が期待できる。観客ニーズにあった公演等にしぼりこんで計画し満席にする方向を目指しているが、財政面から考えると、観客のニーズにあった自主事業でさえキャパシティの面で事業コストの課題が残るため、事業本来の目的と市民ニーズの兼ねあい等を十分に慎重に検討していきたい。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	ポスターチラシ等を置いてもらえる場所の発掘や、タウン誌などの無料広告を利用して他方面に周知宣伝効果を上げることによって集客につながられた。自主事業公演時に毎回アンケートを実施し、ニーズにあった催しを開催することでチケット完売を達成できた。さらに新たな試みとして「友の会」特権としてのイベント開催や「よしもと」との共催事業も行い会場をおおいに盛り上げた。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	事業コストに課題はあるが、市民に質の高い文化に触れることによって、政策目標である心豊かな人づくりに貢献できている。「友の会」の入会人数が少ないようであるが、友の会の意義・位置づけを再検討する必要があるように思う。また、市民参加型の公演事業は、有意義であり今後も継続してください。 事業内容は適切に実施されていると思われ、評価も適切だと判断できる。掲げる目的と講じた手法にブレは無いように思われる。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	公立文化施設の役割として、発表会、練習等文化芸術への場の提供。市民による文化活動支援として文化芸術の普及、育成。市民参画型、また質のいい自主事業の鑑賞機会の提供等、市民の文化力を高める文化振興事業を今後も地道に継続していきたい。「友の会」については、今後の検討課題とさせていただきます。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	20
事務事業名	展示（常設展・特別展等）事業	担当課名	歴史博物館
係 名	歴史博物館	施 設 名	歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	展示会を通じて地域の歴史文化を紹介し、市民が地域の伝統文化等に関心を高め、愛郷心が育まれるようにしたい。			
事業の内容	展示会（年間企画展3回・特別展1回）の開催、展示図録・目録等の発行。			
事業対象	市民等来館者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
	事業費 ①		3,031	2,760	4,313	
	内一般財源		1,924	1,792	3,732	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		1,107	968	562	
	人件費 ②		10,587	10,587	10,587	
	総コスト①+②		13,618	13,347	14,900	
実績と成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	入館者数	人	4,986	4,611	5,000
	事業成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	博物館の主要な事業として、葛城に係るテーマで特別展・企画展などの展示活動を、例年通り年合計4回の開催を行った。入館者数は、前年に比べ若干少なかったが、過去入館者数の平均値並みであった。また、展示会開催に要する経費について、従来から展示パネル製作など業者委託業務で施工していた展示装飾に関しても、質感的に劣るものの、できる範囲で職員の手作りによるものを行なうなどして、経費節減に努めた。なお、展覧会開催の周知の方法により、入館者数も大きく影響する。現状において市広報・HPや県広報、市内放送、市内各区の掲示板へのポスター掲示、新聞報道などを活用し、市民に対して特別展等の開催をお知らせしている。これにより郷土の歴史に対し関心を持つ市民等に、特別展等の開催内容について広く周知が出来ていると思われる。入館者数においては、年4回の特別展・企画展等の開催によりリピータも多く、安定した観覧者数の傾向が見られるが、より多くの市民に、葛城の歴史文化に興味を感じ、入館していただけるように、効果的な周知方法を見出す必要がある。			
事業の課題・問題点	特別展・企画展は例年通り年合計4回の開催をしているが、本事業予算の殆どは特別展開催の必要経費であり、他の企画展は展示パネル製作など展示に要する経費は、職員の手作り製作に努めるなど、できる限りの展示事業経費節減の中で開催にこぎつけているものである。ただ、なんとか展示会開幕準備ができて、展覧会等広告経費の予算削減により広告範囲が削減されたままであるため、催し物情報(ポスター・チラシによる)の発信範囲が狭まったままであり、市外など広くに情報発信が届きにくい状態となっている。このことから、経費のかからない新たな効果的広告手段の模索が必要となってきているものの、予算の伴わない広告方法にも限度を感じる。展示事業等の開催経費についても、パネルなどの展示装飾において職員の手作り製作によるものも活用するなどして、経費節減に努め、予算等の効果的な運用努力を行うものの、更に求め続けられる、経費削減と入館者増への目標達成努力は葛城市の社会教育推進の一翼を担う公的博物館活動の普及啓蒙を推進するうえにおいて、厳しい状況である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	本事業において、事業目的や内容および本事業の有識者の意見や評価の結果を受けて、市の緊縮予算にもかかわらず本事業実施の有益性や成果が評価され、例年並みの事業実施の予算措置もなされているものの、博物館展示施設等の設備維持に要する改修費は多額の予算を伴うことから、その為の予算確保に至らず、改善に至っていない。今後、本事業の目的・内容を継続していけるよう、博物館施設設備の維持の為の予算要求にも努めたい。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	緊縮予算の中、いろいろな工夫を凝らして展示会を実施され安定した観覧者数を維持されていることは評価できる。これからは展示会を通じて、郷土の文化発信に努力していただきたい。 葛城の歴史を伝えることが目的。生涯教育の一環として市民に歴史に対する興味を起こさしめるのが目的。その両面が表れた事業である。どうしても入館者数という分かり易い面で評価をしがちだが、葛城市に特化した博物館という位置づけでは難しい部分もあると思われる。葛城という枠で縛るならば、入場者の大きな伸びや展示会の斬新さを期待することは難しい。博物館の位置づけをもう少し柔軟に考えるべきではないか。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見、数値目標等)	開館当初からの館の理念である、葛城市民や児童生徒達をはじめとする多くの入館者が、葛城地域の歴史・伝統文化に関心と親しみを持ち、郷土を愛する心を育むための事業展開を骨子とする博物館活動を継続実施すると共に、時には葛城という枠で縛られることのない新しい展覧会も考慮しつつ、どんな活動が展開できるか検討も行き、更なる郷土文化発信に努力したい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	21
事務事業名	歴史講座開催事業	担当課名	歴史博物館
係 名	歴史博物館	施 設 名	歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～				
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進				
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす				
事業の目的	歴史講座等を通じて地域の歴史文化を紹介し、市民が地域の伝統文化等に関心を高め、愛郷心が育まれるようにしたい。					
事業の内容	葛城地域の歴史文化や新しい歴史研究の成果について本講座において、わかりやすく紹介することにより、地域の歴史文化への理解を更に深めると共に、市民の愛郷心を育むことを目標に歴史文化講演会「葛城学へのいざない」を年間12回にわたり開催する。 また、夏季には高学年児童を対象に土器等を制作体験する親子ふれあい講座、秋には市内にて歴史ウォークを開催する。					
事業対象	市民等来館者					
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成	～ 平成	間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
	事業費 ①		220	280	320	
	内一般財源		220	280	320	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		950	950	950	
	総コスト①+②		1,170	1,230	1,270	
実績と成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	参加者数	人	1,547	1,192	1,300
	事業成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>展示事業とともに博物館の主要な事業として葛城に関係するテーマでの文化講座を、例年通り年12回の開催を行った。入館者数は、前年に比べ若干少ないものの、毎回百人ほどの方が集まる人気講座で継続開催の希望も多く、概ね市民ニーズ・施策目標実現に貢献及び目標達成できていると考えられる。また当事業の主な経費の講師謝金も、限られた予算の中で講座に最適な講師の選定に努めている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>開館以来、葛城に因む話題を取り上げ毎月1回開催する本講座であるが、「葛城」にテーマをしぼって開催しているため、以前に開催した講演会と内容・講師が重ならないように年間計画を作成し、また、限られた予算の範囲内での講師選びを行なうなど、苦慮しているところである。ただ、開催月や天候により、普段よりも講座出席者の思わぬ減少が起こる場合もあり、H26年度においても、当初は好調な参加率であったが、年度末頃には出席率も低下し、僅かながら目標数値に至らなかった。原因は天候不順・参加者側の諸事情が重なった為とも思われるが、今後、目標数値達成の為、講座開催の告知を従来の市広報や市内放送、新聞報道などの他に効果的方法を探るなどして、小まめに行い、受講者の増につなげたい。なお、昨年度、一見歴史とは関係なさそうなイベントなどの取り組みを検討してはどうか。との提言を頂いたが、市の緊縮予算方針の為、新たな取り組みの実現する予算確保に至らず、今後の課題としたい。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>本事業において、事業目的や内容および本事業評価の結果を受けて、市の緊縮予算にもかかわらず本事業実施の有益性や成果が評価され、例年どうりの事業予算確保もなされている。市の緊縮予算方針の為、新たな取り組みを実現する予算確保に至っていないが、過去の評価結果をふまえ、講座内容や講師の選定等に努めている。</p>
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	<p>展示事業とともに博物館の主要な事業として、毎回100人ほどの人が参加していることは十分評価できる。今後は、興味のない市民への関心を高めるための取り組み、特に啓発活動の工夫を検討していく必要があるのではないかと。参加者数を見ると平均100名前後の参加者があり、少ない予算の中、定員の6, 7割とまずまずの成果ではないかと思われる。新しい来場者の開拓に向けて限られた予算の中、工夫を凝らしていただきたい。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見、数値目標等)	<p>先人により、守り継がれてきた葛城市の歴史文化遺産が保全・継承されるよう、郷土に関する歴史文化などに焦点をあてた講座等の開催を今後も継続してまいりたい。 また、新しい来場者の開拓を図るべく、講座への関心を高めるための取り組みや啓発活動内容についても検討し、限られた予算の中、工夫を凝らして広く情報発信に努め、市民が地域の伝統文化等に関心を深め、郷土の歴史文化を学ぶ楽しみを感じながら、郷土愛がさらに高まるよう普及活動を行いたいと思う。</p>	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	22	
事務事業名	埋蔵文化財等調査事業	担当課名	教育総務課・歴史博物館
係 名	文化財係・歴史博物館	施 設 名	教育総務課・歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～				
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進				
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす				
事業の目的	市内地域の埋蔵文化財の保護。					
事業の内容	<p>市内遺跡内で工事が行われるに際し、施工者から提出される発掘届出書を県教委へ進達する。それについて県教委から通知される指導事項に従い、市の担当職員が現場にて発掘調査や現場立会等を実施し、調査結果終了報告書等を作成し、県教委へ提出する。また、市内遺跡の範囲確認等のため発掘等の調査や記録保存等のための発掘調査を市教育委員会が主体となり実施し、詳細な調査記録をまとめた報告書を作成し、国・県へ報告すると共に各研究機関にも配布し、埋蔵文化財の保存・研究のために資する。</p>					
事業対象	一般事業者・市民					
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成	～ 平成	間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
	事業費 ①		2,000	2,000	2,000	
	内一般財源		500	500	500	
	内国・県補助金		1,500	1,500	1,500	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		3,352	3,352	3,352	
	総コスト①+②		5,352	5,352	5,352	
実績と成果	区 分		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)	
	事業実績	調査事業	件	10	10	10
		立会等	件	14	13	10
		届出(通知)	件	54	54	55
	事業成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>合併に伴い葛城市になったことで、埋蔵文化財包蔵地エリアも増大した。また、当該エリア内における開発件数も共に増加していることから、調査事業も人員的に困難ではあるが、他事業との兼ね合い調整の結果、着実に実施し成果を上げている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>合併に伴い葛城市になったことで、埋蔵文化財包蔵地エリアも増大し、当該エリア内における開発件数も共に増加している。また、公共事業や宅地開発等土地開発事業が増加傾向にある中で、現場対応できる技術職員配置体制が1名と、旧町体制レベルのままであり、更に博物館業務と兼務であることから、博物館事業との兼ね合いに多くの困難を呈する状況である。埋蔵文化財を主担当とする職員が、文化財を有する他の県内市町村なみに配置出来ていないことに問題と課題がある。更に、現場における発掘調査に対応できる職員も40歳代であり、早急な後継者の育成も必要である。については今後、文化財係の中に文化財行政業務に対応できる専門技術職員の配置をする必要があるのはもちろんの事であるが、増加するであろう発掘調査等の事象や文化財保護のため、行政事務を円滑に対応する為にも、新規技術職員等の配置が早期に必要な状況である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>本事業における人事的課題について、毎年人事要望を行っているものの事態の改善に至らず、例年ほぼ同様な問題点を提起し、過去における有識者の意見も葛城市の文化財を保護する為、「後継者の育成も含め、市の発展に応じた人材配置が望ましい。」など、提言もいただきながら、改善できていない。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>埋蔵文化財包蔵地エリアの増大及び開発件数が増加している。文化財を保護していくためには、将来的にも専門職を育成及び人員の増加を検討していく必要がある。 市の発展に必ず必要な事業であり評価も適切だと考えられる。実績件数も現時点の人員で可能な枠を少し超える程度に収まっており、効率面でも丁度よいレベルだとは思われる。課題問題点に挙げる後継者育成確保は今後必須で、市は長期的視点を持って対処しなければいけない。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>本市における埋蔵文化財の発掘調査・保存事業の業務は、将来のまちづくりに欠かせない事業である。近年の開発件数の増加により、人事及び財政的に困難な面も伴うが、業務の効率化に努め、関係機関と十分に連携をとりながら、計画的かつ円滑に事業進捗が図れるよう努めたい。 また、今後の業務の円滑化を進め、安定化を図るため、関係職員の増員についても要望をしていきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	23
事務事業名	文化財保存事業	担当課名	教育総務課・歴史博物館
係名	文化財係・歴史博物館	施設名	教育総務課・歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	市内における国宝等指定文化財の保存事業。			
事業の内容	<p>市内にある歴史遺産（国宝・重要文化財等）保存のため、文化財所有者等が行う保存修理などの「文化財保存事業」が実施されるにあたり、市内の歴史文化を保全・継承していく為に国・県と共に葛城市も事業助成を行った。平成26年度は重要文化財村井家住宅保存修理事業及び国宝綴織當麻曼荼羅の保存修理ほか7件の保存事業が所有者等により実施され、その事業助成を実施した。また、平成27年度において新たに重要文化財當麻寺四天王立像修理等が数年の継続事業として計画され、その事業助成も予定されている。</p>			
事業対象	市内の国宝等指定文化財所有者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
	事業費 ①		110,218	181,599	204,685	
	内一般財源		4,692	3,688	6,920	
	内国・県補助金		84,983	138,671	180,048	
	内受益者負担		20,543	39,240	17,717	
	人件費 ②		1,089	1,089	1,089	
	総コスト①+②		111,307	182,688	205,774	
実績と成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業実績	市内重要文化財等	件	6	9	8
	事業成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>わが国の各地域で長い間守り伝えられてきた文化財は、日本の伝統文化を今に伝え、また未来へ伝える必要のある大切なものである。しかし、文化財の多くは長年の経過により本体が脆弱で定期的な保存修理等が必要である。市内の重要文化財等のうち、保存修理が急がれる重要文化財村井家住宅保存修理事業及び国宝綴織當麻曼荼羅の保存修理等の文化財保存事業が継続事業として既に実施され、今年度からは新たに重要文化財當麻寺四天王立像修理等が数年継続事業として予定されている。歴史遺産を守ることを市の重要施策目標とするうえで、文化財保存の為の事業に対し今後とも事業助成の必要がある。</p>			
事業の課題・問題点	<p>文化財は日本の地域伝統文化を今に伝え、また未来へ引き継ぐべき大切なものであることをふまえて、歴史遺産の保護を市の重要施策目標とするうえにおいて事業助成は必要である。ただ、文化財の保存に要する経費は決して低くないことから、文化財所有者にとっても、また助成する市にとっても、厳しい財政状態の中で決して容易な負担額ではない。しかし、財政的に困難であっても文化財保存を市の重要な施策とし、今後も国・県・所有者とともに継続して取り組む必要があり、当面はその予算確保が課題である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>例年、厳しい市の財政状況であるものの、文化財保存を市の重要な施策とし、今後も国・県・所有者とともに継続して取り組む必要があることから、当面はその予算確保が出来、所期の目的を達成している。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>国宝等指定文化財は、国民の宝である。これからも守り続けていくためにも計画的に取り組んでいただきたい。 全国に誇る貴重な文化財を多く有する葛城市として、その保存保護は次世代以降への継承という面で必要な事業であると考えられる。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見、数値目標等)</small>	<p>市民の財産である歴史遺産の保存は、国・県のみならず本市の責務である。今後も関係機関と連携しながら適正な保存事業が行われるように細心の配慮を行うと共に、指定文化財保存の為の事業助成については、国・県と連携のもと、財政状況も勘案のうえ可能なかぎり計画的かつ適正に実施できるよう努めたい。 また、市民に対しては、文化財を保護し次世代以降へ継承していくことの重要性を啓発することに努め、財政負担についても、その必要性について理解が得られるように努力したい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	24
事務事業名	各種教室開催事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施設名	

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	市民に教室等を紹介し、スポーツに親しむ機会を提供して健康増進を図る。			
事業の内容	<p>在住・在勤者を対象に、スポーツに親しんでいただくきっかけづくりのため各教室を開催する。幅広い年齢層のスポーツニーズおよび教室の実施対象者のニーズを把握し、できるだけ多くの方の参加を目指す（初心者優先）。</p> <p>年齢や生活環境に適した幅広い市民のスポーツ人口の増加推進に努める。また、親子テニス教室や親子体操教室のように親子でふれあえる教室のニーズが高まっているので、さらに充実していく。</p>			
事業対象	教室・講座受講者（市内在住・在勤者）			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)		区 分	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
		事業費 ①	1,547	1,547	1,722	
		内一般財源	1,547	1,547	1,722	
		内国・県補助金	0	0	0	
		内受益者負担	0	0	0	
		人件費 ②	2,560	2,699	2,699	
		総コスト①+②	4,107	4,246	4,421	
実績と 成果	区 分		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
	事業 実績	小学生	千円	882	882	882
		一般	千円	420	420	560
		親子教室	千円	245	245	280
	事業 成果	小学生	人	174	162	180
		一般	人	57	52	90
		親子教室	組	31	40	40

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	親子対象の教室や子供向けのテニスおよびサッカー教室は人気があり、親子のふれあい並びに子どもの体力向上、バランス感覚養成に役立っていると思われる。 今後、さらに市民のニーズに応じて体力づくり・健康増進に繋がる事業としていきたい。			
事業の課題・問題点	全ての教室生にスポーツの魅力を教え今後クラブ員として活動できるよう導き、教室生は初心者のみの参加となるよう説明する必要がある。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成24年度からテニス教室の人気により、新庄地区(屋敷山テニスコート)でジュニアテニス教室を開始し、新庄スポーツセンターでは子どものバランス感覚を養うためジュニア体操教室を始めた。また男性も参加できるようエアロビクスは平成25年度から、また健康トレーニング教室については平成27年度から募集条件を改正した。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	実施対象者ニーズを把握し、幅広く年齢に応じた教室を企画されスポーツに親しむ機会を提供していただき、大変有難いです。これからも、幅広い年齢層のニーズを常に把握していただき、各教室の企画運営に取り組んでいただきたい。 市民への健康増進を計る目的にスポーツへの門戸を開く手法は適切であると考えられる。事業の展開方法も現時点で適切だと判断でき、成果実績もまずまずだと思われる。今後も必要に応じて事業の精査をしながら継続すべきだと考える。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	各種教室開催事業について、趣旨としては初心者対象であるが、前年受講者が引き続き受講している教室も多々ある。より多くの市民にスポーツを行うきっかけづくりであるため、初心者の受講者の割合が増えるように市民に周知する方法を工夫しなければならない。また、現在設立準備中である「総合型地域スポーツクラブ」に移行できるようにもっていきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	25
事務事業名	各種スポーツ大会等開催事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	各種スポーツ大会等を企画し市民の参加を促す。			
事業の内容	<p>市民が積極的に参加できる各種大会の開催や後援などを通してスポーツの振興を図り、健康・体力づくりを支援する。市体育協会及び加盟団体とともにスポーツへの関心を高め、生涯スポーツの振興と体力・健康づくり及び技術の向上を図る。</p> <p>市民体育祭をはじめとする各種のスポーツ・レクリエーション大会等の行事については、参加及び実践意欲の向上をかんがみて内容等を検討し、さらに多くの市民がスポーツに親しむように努める。</p>			
事業対象	大会参加者（市内在住・在勤者）			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	単 位	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①			4,548
内一般財源				4,548	4,548	4,548
内国・県補助金				0	0	0
内受益者負担				0	0	0
人件費 ②				4,828	4,867	4,867
総コスト①+②				9,376	9,415	9,415
実績と成果		区 分	単 位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)
		事業実績	大会事業費	千円	4,548	4,548
事業成果	大会参加者数	人	9,907	8,899	10,000	

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	参加者数は横ばい状態であるが、今後新しいメニューも取り入れることも団体等と検討し、ローコストでハイリターンの大会運営を目指していく。			
事業の課題・問題点	平成16年10月に旧當麻町と旧新庄町が合併して以降、市民体育祭をはじめ各種大会メニューがほとんど変わっていない。 そこで、総合型地域スポーツクラブの設立も視野に入れ新しい手法を加え大会を盛り上げることを考える時期にあると思われる。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	市民が一同に集まる市民体育祭におけるプログラムを、企画運営委員会に諮りマンネリ化を防ぐため毎年一部メニューの見直しを行っている。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	数多くの大会を企画・運営されており評価できる。しかし、参加者が横ばい状態であるということは、今後大会の内容または新しい大会等を含め、各種団体と検討していく必要がある。誰もが気軽に参加できるメニューの企画が必要である。 内容、参加者数、継続性をみても適切な評価だと考える。ただし、改善点にあるようにマンネリ化の問題は資料からも見ることができる。合併から10年が過ぎ、一つの転換点に来ているのだという意識を感じることができるので、対策を講じていただきたい。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえた 担当課意見 ・数値目標等)	現在、主催しているスポーツ大会は女子バレーボール大会、少年野球大会、ソフトボール大会、綱引き大会、駅伝マラソン大会、雪中登山、春季・秋季スポーツ大会、市民体育祭及びスポーツ少年団の各種大会がある。年間スケジュールを考えればこれ以上の大会の増加は難しい。既存の大会を見直し、精査し各連盟と存続か廃止を視野に入れて協議する時期にきている。廃止になった大会に代わり、スポーツ推進委員と連携し、ニュースポーツを取り入れ、子どもからお年寄りまで気軽に参加出来る大会または体験事業を開催を行う方向で進めたい。	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	26
事務事業名	体育施設の管理運営事業	担当課名 体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	体育施設の安全で効率的な管理および運営			
事業の内容	体育館 4カ所（当麻スポーツセンター体育館、市民体育館、新庄スポーツセンター体育館、いきがい体育館） 運動場 4カ所（当麻健民運動場、新庄第1健民運動場、新庄第2健民運動場、新町球技場） テニスコート 3ヶ所（当麻スポーツセンターテニスコート、新町公園テニスコート、屋敷山公園テニスコート） プール 2ヶ所（新庄、当麻両スポーツセンタープール） 上記体育施設の維持管理・運営を職員4名、嘱託1名、アルバイト2名で行っている。			
事業対象	施設利用者（市内在住・在勤者）			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	
	事業費 ①		92,428	60,799	59,990	
	内一般財源		91,154	59,624	59,024	
	内国・県補助金					
	内受益者負担		1,274	1,175	966	
	人件費 ②		5,780	6,532	6,532	
	総コスト①+②		98,208	67,331	66,522	
実績と成果	区 分		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度(目標)	
	事業実績	施設管理費	千円	92,428	60,799	59,990
		内修繕、工事費	千円	44,714	29,267	21,609
	事業成果	施設利用者	人	159,915	184,969	170,000

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	安全かつ快適に施設をご利用いただくために、点検・改修を行っている。平成25年度において体力づくりセンターのリニューアル工事を実施し、平成26年度において新庄第1健民運動場放送設備入替・當麻スポセンテニスコートC面人工芝張替および當麻スポセン屋内消火栓設備改修を行った。今後も施設の老朽化に伴う定期点検および改修を行い、市民が快適に利用して頂くよう努めていく必要がある。			
事業の課題・問題点	施設の老朽化に伴い、抜本的な改修計画(改築、補強、取り壊し等を視野にいたした検討)が必要と思われる。 また、利用者のマナーアップ意識を高めて施設、器具を大切にご使用いただきたい。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	施設の維持管理については「わかくさ国体」時に建設された施設がほとんどであり、老朽化に伴う修繕箇所も少なくないが利用者の声に耳を傾けつつ運用している。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	一般市民が毎日数多く活用する体育施設である。安全で快適に利用できるように日々点検を行っていただき有難いです。これからも、点検・改修していただき使用者が安心して活動できる体育施設に努めてください。また、利用者のマナーアップに取り組んでいただいていることも施設維持管理にとっても大切なことであり、評価できる。 合併の影響で、近隣市町村の中でもっともスポーツ施設が多いのが葛城市ではないだろうか。施設の老朽化は目前の課題として対策が必要だが、統廃合を含めて考えなければならない時期に差し掛かっているのではないかと。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	現在、施設の使用料は原則無料で使用いただいているが、施設の老朽化に伴い、今後、修繕箇所が多々出てくることを見越し、修繕費の一部として利用者より使用料を徴収することも視野に入れなければならない。また、現在設立準備中である総合型地域スポーツクラブの使用施設として既存の体育施設を有効利用出来るように検討していかなければならない。	

7. 点検及び評価のまとめ

教育に関する事務の点検及び評価報告書（各事業評価シート）について、教育委員会より以下の意見を受けました。

(1) 各事業に対する意見について

事業 No. 2 相談（来室・訪問）事業・研修支援

研修を保護者にもお願いしたい。できれば教員と一緒に研修を受けることで、コミュニケーションや情報共有が図れるので良いと思う。

事業 No. 3 適応指導教室

利用度が高まるにつれ、相談員や利用者が無理なく、スムーズに対応できるよう教育相談室の整備・改修が必要と感じる。

適応指導教室に抵抗を感じる子どもがいる。来室を待っているのではなく、週一回の訪問で教室の魅力を伝え、各種方面の分野の方の知恵も借り、一人としっかり関わってほしい。

事業 No. 4 スクールカウンセラー

スクールカウンセラーによる相談回数や相談場所が改善されたことによって、児童・生徒・保護者の方々にとっても悩みごとなどの相談に適切な対応がなされ、問題が解決されやすくなったと思われる。今後も更に充実した体制づくりの取り組みが必要。

教員は転勤でその後の引継ぎができないことが考えられる。スクールカウンセラーの方には長期的な配置をお願いしたい。教員との連携を必ずとり、生徒にはもちろん教員の中へ自然に入って気軽に相談できる環境を学校が作るべきだと思う。

事業 No. 5 学校給食事業

新学校給食センターの現地視察では、環境面や衛生面また最新の設備投入に驚かされた。特にアレルギー対応食についても万全の策をとられていることに安心感を受けた。今後の運営については食中毒など決して発生させないよう最新の注意を払っていただきたい。

食育推進の取り組みの観点からも給食メニューを、今以上に季節を感じられる和食中心に切り替えていく工夫をしていただきたい。

毎月の「給食だより」は保護者にとって有難い。給食に関心がある家庭は、家でも「給食だより」を掲示していることが多い。新給食センターになっても引き続きお願いしたい。

事業 No. 6 学校給食センター建設事業

新しい学校給食センターが稼働されるが、今までの直営方式から外部委託業務となるため、本物の手づくりの味が損なわれず粗雑なものとならないように、より充実した安心安全な学校給食の提供に期待する。

事業 No. 7 葛城歌壇短歌募集事業

短歌会の参加者が定着されているようだが、短歌は難しいと思われる方が多く周知されていないように思われる。短歌の楽しさを市民の人たちにもっとアピールし、気軽に参加できる工夫が必要なのではないか。

市内小中学校で応募の取り組みはすばらしい。その時に保護者にも1点応募をもらうことで親子での会話も広がって良いのではないか。

事業 No. 10 成人式式典事業

新成人のスタッフが集まりにくいのは少し残念に思うが、成人式の式典の企画・構成はそれぞれ各年度により取り組みの工夫がされていて、学年の個性が活かされていると思う。

毎年新成人が作るという楽しい企画であり、その年の色が出て盛り上げていただいている。スタッフの募集に苦労しているようだが、もう少し早い段階で動いてみてはどうか。

事業 No. 11 生涯学習人材バンク事業

人材バンクの登録者が活躍できるよう、各大字公民館での学習づくりなど大字区長や事業で必要とされる他課との連携を図り、各分野に周知されることが必要。

市内には知識技能を持った方がまだたくさんおられる。聞き込みなどをして人材確保し、学校や社会教育等に積極的に説明や交渉を直接行ってほしい。

事業 No. 12 青少年健全育成事業

子どもや若者たちが、すぐにでも相談でき専門的に対応していただける「かけこみ寺」的な存在である場所、目にみえる機関として施設（青少年センター）の設置の必要性があると考えられる。

青少年センターの設置をぜひお願いしたい。学校やスクールカウンセラー、他の支援機関、近隣市町村との連携を必ず取っていただきたい。

事業 No. 13 学校・地域パートナーシップ事業

この事業は各校ともコーディネーターを中心にボランティアが大変活躍され一定の成果を上げられている。非常に喜ばしいことである。継続を怠ることのないよう学校行事やPTA総会等で成果等公表しながらよりいっそうの効果を引きつがれることを期待する。

学校支援地域コーディネーター・ボランティアの方々の活動により、先生方や児童との関

わりを密にされ、各学校に潤いがもたらされていると思う。今後も地域パートナーシップ事業の効果ある展開を図っていただきたい。

事業 No. 15 子ども・若者育成支援事業

No.2,No.3,No.12,No15 は複雑に連携していることから関係部局とも協議し、青少年センターの設置を検討されたい。

青少年健全育成事業での課題としてとりあげた「青少年センター」の設立に向けて、この施設の中に全ての相談窓口として一本化とし受け入れていく体制づくりの構築が必要。

情報の共有と連携が必要な重要な事業だからこそ、取りまとめるリーダー的存在の確立をお願いしたい。

事業 No. 17 地区館教室・講座事業

市内5地区館で開催される教室や講座は、ほとんどが毎年同一場所と固定化されているようになっている。参加申し込みをしたいが、他の大字への教室はどうしても遠慮がちになると思われるので、隔年ごとにでも開催場所を変更してはどうか。

事業 No. 25 各種スポーツ大会開催事業

市民体育祭のプログラム内容や開催月の変更の見直しが必要と思われる。

(2) 総評

主要事業に対する事務局の自己点検については、おおむね適正に評価されていると考えます。

この事業評価に関わっていただきました有識者の方々には、卓越した見識と豊かな経験をもとに貴重なご意見をいただきました。ここに感謝申し上げます。

いただいたご意見を無にすることなく積極的に受けとめ、市の将来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、また、市民の皆様が日々の生活の中に安らぎや喜びを感じていただけるよう、より一層充実した事業の推進に努めてまいります。

平成27年9月1日

葛 城 市 教 育 委 員 会